



月刊「ワークホームだより」1月号

発行：平成28年12月26日 発行者：ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

ワークホームの食事を新たな事業に・・・

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己



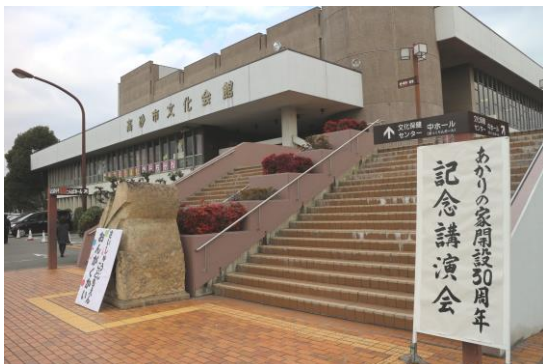
先月、昼食のお弁当に異物混入があった。異物は湯切りザルの金具が劣化したもので、まるでホッチキスの針のように見えた。幸いにも職員の弁当だったから利用者への被害はなかった。しかし、「ぞっ」とした。気が付かなければ大事故につながっていたからだ。これまでも髪の毛などの異物混入が何度かあり、そのたびに改善策を求めてきたが、今回は極め付けといった感じである。そもそも「食事」は、安心・安全が大前提で、そのうえに「栄養バランス」や「味の良さ」や「見た目のおいしさ」など食の文化性を追及しなければならない。それなのに、「安心」を担保されない「弁当」では利用者への責任が持てないと強く思った。さっそく弁当納入業者には顛末書と今後の対応策を提出してもらったが、そろそろ納入業者の変更も含めて検討しなければならないのではないかと思始めている。

ところで、ワークホームの弁当は「クックサーブ方式」が認められており、行政からの補助金（食事提供体制加算）をいただいている。そのため、利用者にとっては安く弁当が食べられるメリットがある。しかし、この補助金をいただくための基準が厳しく、条件に合う弁当を納入できる業者は、周辺では現在の業者1社のみである。例えば、機内食のような「クックチル」（急速冷凍方式）による方式も基準を満たすが、あまりおいしくはないし、スチームコンベクターなどの大型厨房器具を入れなければならないなど課題も多い。したがって、現在の業者を変更しようにも簡単にはいかないというのが現実なのである。

そこで、以前から考えているのが、あかりの家の協力を得て障害者が働く「給食サービス事業所」を立ち上げ、障害者の就労と給食の提供を同時に進めるというものである。「給食サービス事業所」でワークの昼食やあかりの家、グループホームの食事、出来れば周辺の障害者サービス事業所の食事を作り、得られた収入で障害者に工賃を支払うというものである。まだ、構想の段階で具体化するためには多くのハードルをクリアしなければならないが、是非とも実現したいと思っている。

まもなく新しい年を迎えます。この一年も保護者をはじめ多くの関係者のご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。2017年は、新たな事業の展開を一つの目標にして職員一同がんばりたいと思いますので、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

あかりの家開設30周年記念講演会が開催される！



12月17日に高砂市文化保健センターにて、ノートルダム清心女子大学の青山新吾先生を迎え、「僕が自閉語を学ぶわけ」というテーマで（社福）あかりの家開設30周年記念講演会が行われました。講演では分かりやすい具体的なエピソードを交えながら、どう関係を作っていくか、どう付き合っていくべきかというお話をいただきました。また 鼎談に置けば、あかりの家実践キーワードを通して率直な意見をいただきました。これからのワークホームにとっても参考になる貴重な時間となりました。ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。（楠）



1月行事予定

- 1月4日（水） 仕事始め、17:00 まで作業
 - 1月11日（水） サークル活動、工賃支給日
 - 1月18日（水） 掃除、料理クラブ（浅野・岡本・常峰・今津香）
 - 1月25日（水） サークル活動、料理クラブ（松永・伊集院・福田・西谷）
※福田さん・松永さんは公休日ですが、別の日に休みを振り替えます。
 - 1月29日（日） 小旅行
- <1月の指定休>
- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・1班：10・17・24・日曜日 | ・2班：4・11・18・25・日曜日 |
| ・3班：5・12・19・26・日曜日 | ・4班：6・13・20・27・日曜日 |
| ・5班：7・14・21・28・30・日曜日 | ・6班：9・16・23・31・日曜日 |
| ・7班：毎週土曜・日曜日 | |

今月の注意事項

- 12月30日（金）～1月3日（火）まで、ワークホームはお休みとなります。
- 1月4日（水）は年末年始のお休みで溜まった商品を出荷するため17：00まで作業を行い、サークル活動は1月11日（水）に行います。
- 1月29日（日）小旅行の内容は、京都鉄道博物館への観光とカラオケ等の宴会を行う予定です。

青山新吾先生をお迎えしての懇親会がありました

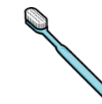
12月17日（土）にあかりの家30周年記念講演会が青山新吾先生をお迎えして行われ、その夜にワークホーム高砂で懇親会が持たれました。懇親会会場が急ぎょワークホーム高砂に決まり、十分なおもてなしもできませんでしたが、気さくな講師先生のお人柄もあり、研修会とは違った盛り上がりで楽しいひと時となりました。研修会とは違って身近に先生を迎え、ざっくばらんに質問が飛び交うなど、支援員にとって有意義な時間を作っていただきました。青山先生、本当にありがとうございました。（西野）



今月の担当は松藤でした。

レインボーデーでカップヌードルを作りました！

12月5日(月)、浅野さん・池上さん・伊集院さん・金谷さん・玉木さんと職員の三輪と藤本の7名で、大阪府池田市にあるインスタントラーメン発明記念館に行きました。その日は12月にしては大変ポカポカ陽気の中、気持ちよく電車で揺られて1時間半ノンビリと行きました。館内には一面にカップラーメンが並べられ、興味津々に見ていました。この日の目的であるマイカップヌードル製作体験では、カップの表面に絵や文字を書き、希望したスープの素と具材を入れてもらい、それが製品として出来上がるというとても面白いものでした。皆さんそれぞれ、カップヌードルのマスコットの絵や、お世話になっている方への感謝の文などを書いていました。帰りに、出来上がった自分だけのオリジナルカップヌードルを手渡され、とても感動していました。(藤本)



みんなの歯がきれいになりました！



平成28年12月7日、加古川歯科保健センターから4名の歯科衛生士さんが来られ、歯磨き指導をして頂きました。歯垢がどの程度残っているかを丁寧にチェックしていただき、正しい歯磨きの仕方も教えてもらいました。普段から綺麗に磨けている人、逆にもっと頑張らないといけない人、様々でしたが、みなさん歯を磨いている時は真剣な表情でした。歯を綺麗に維持することは健康にも繋がります。みなさん、お家でもワークホームでもしっかりと毎日歯を磨きましょう！(宮本)



保護者クリスマス会を開催しました！



12月18日ワークホーム高砂多目的室で保護者クリスマス会が開催されました。職員のレクリエーション・法人あかりの家30周年記念で作られたビデオ鑑賞・ワークホーム高砂の1年を振り返るビデオ鑑賞・ビンゴ大会と参加者全員が笑顔の3時間でした。

ステーキ弁当とケーキでお腹もいっぱい。役員の皆さん、前日までの準備に、早朝からの会場飾り付け・片付けまで本当にご苦労様でした。楽しいひと時をありがとうございました。(三輪)



今月の「なっとこちゃん」トピックス ～大きな業務用冷蔵庫が入りました～!(^_^)!

納豆保存に冷蔵庫は不可欠！ラベルに表記もしていますが「10度以下で保存」なのです。基本、納豆は保存食ですが、温度が高いと発酵が進み『過発酵』状態になってしまいます。その為、この夏は特に冷蔵庫の温度管理に苦しみました。が、やっと先日、大きな業務用の冷蔵庫が納豆作業所に入ったのです。中が広く、ざっと1600個は一度に入るくらいです。また、外に温度は表示されているので庫内の温度を管理しやすく、一旦上昇しても、すぐに下がってきます。みんな大喜びで「〇〇君も入れるくらいやな」と冗談も出ていました。益々、日々の作業に気合が入ってきたようです。(笑)(西野)



曾根小学校の4年生がWHを見学！



11月28日と29日、地元の曾根小学校4年生が福祉教育の一環としてワークホームに来てくださいました。一日に2クラスを2日間に分けて約130名の児童と先生が、利用者の働く様子や障害者福祉について学習していただきました。後日、児童からの感想文も届けてくださり、ささやかな地域貢献ができたのではないかと思います。(齋藤)

作業場の大掃除を行いました

12月25日(日)に、GOTOアズプランニングの社員の方々と一緒に作業場の大掃除を行いました。作業場は1日に出る埃の量が多く、床や机は毎日掃除できますが、天井付近や配管の上、天窓の周囲は日頃できません。そこで1年の間に溜まった埃をすべて払い落とし、来年から気持ちよく作業に入れるよう全員で取り組みました。(松藤)



仕分け班専用のプレハブを設置しました

ワークホーム用の駐車場が出来たことに伴って、その敷地内に仕分け班が着替えるためのプレハブコンテナを仮設置しました。室内は5人が着替えることが出来る広さがあり、また休憩時間にも利用するため、エアコン、照明、換気扇と快適に過ごす環境を整えています。今回は仮設置で最終的には玄関横南側に本設置する予定です。(松藤)





月刊「ワークホームだより」2月号

発行:平成29年1月24日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



2月行事予定

2月1日 (水) サークル活動
2月8日 (水) 工賃支給日、料理クラブ(藤野さん、木澤さん、岩西さん、大野さん)
作業 15 時終わり(職員会議の為)
※お迎えの方はご注意ください
2月15日 (水) 清掃日
2月22日 (水) サークル活動日



2月の指定休

1班:1・8・15・22・日曜日、2班:2・9・16・23・日曜日
3班:3・10・17・24・日曜日、4班:4・11・18・25・27・日曜日
5班:6・13・20・28・日曜日、6班:7・14・21・日曜日、7班:土・日曜日



「情報の共有化」には専門性が求められる！

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

ワークホーム高砂の運営で、私が口うるさいくらいに職員に言い続けているのが、「情報の共有化」ということです。「情報」の中身は様々で、利用者のご家族のこと、地域のことなど事業所の運営に関わる全ての内容を指しています。「これはワークに関係しているかな？」などと自分で判断せずに、「こんなことを聞きました」とか、「こんなことがありました」と、事実を引継ぎ時に報告するように職員に促しています。

私が施設長になって4年が経過しようとしています。ようやく、情報の共有化も少しですが図られるようになってきました。「事実を事実として報告する」というのは、簡単そうでかなり難しいと思います。というのも、報告するためには、「職員の気づき」がなければならないからです。「Aさんの様子が昨日と違う」と気づかなければ「報告」には至らないし、「家でこんなことがあったようです」という報告も、Aさんやご家族とのいい関係が築けていなければ聞き出せないからです。そういう意味では、「情報」を捕まえるための専門性が職員には求められるということなのです。

そして、もう一つ重要なのが、「共有する力」です。「報告」すれば共有できるというのではなく、その場になかった職員にも、分かり易くタイミングよく伝える必要がありますし、「事実」をどのように伝えれば状況がリアルに伝わるのかを判断して話す力も必要なのです。これらの力は、支援員に求められる専門性の中核をなしているとも言えますが、実は、「共有化」するためには、伝える側だけではなく、聞く側の力も随分と関係しています。そして、報告のあった内容によってその職員を批判しない寛容な職場風土や互いを認め合う職員チームも必要なのです。そういう意味では、「情報の共有化」は事業所運営の基本であると同時に職員の成長を必要とする永遠の課題であると思っています。



手洗い、うがいを



しっかりと行いましょう！！

季節的にも本格的な寒さを迎えています。家から一步外に出ると、厳しい寒さを肌で感じる方も多いと思います。また、現在インフルエンザやノロウイルス等が流行している時期でもあります。ワークホームでも、時折下痢や嘔吐などの体調不良を訴える方も見られるようになってきました。ウイルス対策としては、「手洗い」「うがい」の徹底です。利用者さんには休憩時に手洗い、うがいの呼びかけを徹底しています。ご家庭においても、ウイルス対策をよろしくお願いします。【宮本】

実習生の受入れを行いました！！

1月10日～24日までの11日間、姫路福祉保育専門学校から3名の実習生を受入れました。今回は男性1名、女性2名でみなさん「社会福祉主事」の取得を目指し、様々な実習に励んでおられるとのことでした。

ワークホームではクリーニング作業と納豆作業を体験してもらい、利用者さんと共に作業をしてもらいながら、一人ひとりの目標、課題、そして職員



の普段意識していること等を伝えさせてもらいました。実習生のみなさんは最初緊張があったように思いますが、少しずつ笑顔で利用者さんに接する姿が印象的でした。また、利用者のみなさんはワークホームの先輩として、実習生さんに作業を教える姿が見られました。【宮本】



法人内での連携



同じ法人内の「ひょうご発達障害者支援センター クローバー」の関係者の方々が週1回、ワークホーム高砂の会議室を利用し、「ストレスマネジメント講座」を行っています。ワークホームとしては、直接内容に携わっているわけではないのですが、場所の提供という形で法人内での連携行っています。今後もこういった様々な形で法人全体を盛り上げていけたらと思っています。【宮本】

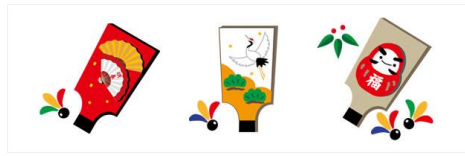


小旅行のお知らせ



○日程:1月29日(日) 「京都溪山閣、京都鉄道博物館」
8:30 ワークホーム集合⇒9:00 ワークホーム出発⇒11:20「溪山閣」到着。
昼食、宴会⇒13:30「溪山閣」出発⇒14:10「京都鉄道博物館」到着。各班自由行動⇒15:40「京都鉄道博物館」出発⇒18:00 ワークホーム到着予定
※お迎えの方は時間にご注意ください
○班編成
1班:今津勇、小南、立岩、光宗、**藤本** 2班:岩西、岸本、吉田、**石井**
3班:大西、梶並、瀬戸内、藤野、**松藤** 4班:稲城、梅原、木澤、西谷、**中右**
5班:竹林、玉木、東西、福田、**宮本**、**施設長**
6班:永田、中村、本田、丸山、**楠** 7班:今津香、田中、濱口、古川、**西野**
8班:大野、玉田、増田渚、森崎、**大谷** 9班:岡本、金谷、木本、増田康、**三輪**
10班:浅野、池上、伊集院、森川、**岡田** 11班:小林、常峰、棒谷、松永、**桂**

今月の担当は宮本翔でした。



各作業班、年末年始の様子を紹介！！



年末年始の5日間連続休暇が実施できるようになり3年が経過しました。初年度の年明け作業は職員と利用者が全員出勤し、昼休憩も15分カットしましたが、昨年度は職員全員出勤だけで作業をこなしました。そして、今年度に関しては、年始から職員、利用者共に通常の勤務体制で作業に臨みました。「一生懸命仕事に取り組む」利用者さんの働き、「利用者さんの成長を真剣に考える」職員の関わり等が合わさり、今年の年末年始のクリーニング作業は短い期間でこなせるようになりました。納豆作業についても、年末に予めたくさんの納豆を生産し配達することで年始の作業をスムーズに行えるよう考えました。この利用者さんの成長を職員間で共有し、今後の関わりにも活かしていきたいと思っております。さて、肝心の各作業班の様子はどうだったのでしょうか？ご紹介します！！

仕分け班

仕分け班では、1月4日(水)の時点で、50ラックほど仕分け用のシーツが残っていました。一日に平均して20ラックほど分けることが出来るので、実に2日半分が残っていたこととなります。仕分けでも新しいラックが搬入されるため大変でしたが、一週間後の11日(水)にはすべて仕分け終え、通常通りの作業内容に戻りました。皆さんどんどん作業のペースが速くなっており、去年一年間で大きく成長しているなと感じました。【松藤】



タオル班

年末年始にかけて、タオル班でも忙しい日々が続いていました。山積みになったタオルの高さは常に3メートル近くあり、多い時で1日にバスタオル3000枚、フェイスタオルも5000枚以上を出荷しました。そんなタオル班の作業も23日現在ではかなり落ち着き、通常時よりもやや作業の少ない作業閑散期に入っています。作業が落ち着いたことで、ゆったり利用者の作業を見守ることが出来るため、タオル班での新しい作業等に取り組んでいきたいと思っています。【岡田】



納豆班

年末年始～いかがだったでしょうか。「お正月はご馳走やお餅を食べられるから納豆は売れないよな～」と控えめな気持ちで、年末29日にスーパーヤマダ様四店舗へ配達したんです。そして31日に、我が家の買い物へ阿弥陀店に行ったら、な・な・なんと“なっとこちゃん”がほとんど無い状態！気持ちの良い年明けとなりました。P：S 異物混入や粘りを再三チェックして出荷していますが、長年働いている発酵器がしんどくなり、粘りの薄い時があるかもしれません。何かありましたら、納豆班携帯へ連絡をお願いします。また、ご注文も承りますm()m 【西野】



シーツ班

年末年始と5日間ほどシーツの機会を停止させていたことで、シーツ類の洗濯物の在庫が多く残っている状況です。機械を使っているため、一日に流せる商品の数に限界があります。少しでも早く商品にするために、機械の無駄な停止時間を軽減することがポイントとなります。それには休憩時間と作業時間のメリハリをしっかりと行い、



利用者の方に集中して作業に取り組んでもらうことが大切ですが、何より職員が意識をして作業環境を整えたり、やる気を引き出す声かけも重要だと考えています。

たたみ班

今年度もありがたいことに年末年始5日間の連休をいただきました。休んだ分はしっかりと働かなければなりません。たたみ班では通路が無くなりそうな程、たくさんのラックに乗った商品がありました。一つ終わると次の作業という状況の中、利用者さんと職員が協力しながら頑張りました。そのおかげで1週間もかからない内に年末年始分の作業を終えることができました。みなさんの作業における成長を強く感じました。【宮本】



1月料理クラブ

メニュー「ぶりの照り焼き、筑前煮、錦糸卵と三つ葉の吸い物、ようかん」

1月18日、浅野さん、今津香苗さん、常峰さんが料理クラブに参加しました。1月ということで、出世魚のぶり・冬の野菜たっぷりの筑前煮のメニューでした。調理の手際が良い浅野さん、盛り付け前に丁寧に食器を拭く常峰さん、一生懸命洗い物をした今津香苗さん、魚橋先生にたくさん



褒めて頂いた料理クラブでした。魚も野菜も吸い物もとてもおいしく、お腹いっぱいいただきました。(*^*)v 【三輪】



希望山荘で消防署の査察

1月18日、希望山荘において、高砂消防署による査察が行われました。今回の査察では、主に消火器、通報機、火災探知機の点検を行っていただきました。もちろん、何も指摘されず短時間で査察は終わりました。グループホームでは定期的に利用者の避難訓練を行っていて、その際には消防署から消防車が来て、消防士さんから消火器の使い方を教えていただいています。利用者さんは間近で見る消防車と消防士さんの勇姿に目が輝きますが、今回は利用者さんがいない中での査察でちょっと残念でした【木澤】



月刊「ワークホームだより」3月号

発行:平成29年2月20日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



「機械」と作業支援

～自閉症利用者の作業支援から見てきたこと～

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己



あと一か月で2016年度が終了します。私が、ワークホームの施設長になり、4年が経過することになります。就任時に課題となっていた GOTO との関係については、安杖社長や岡本工場長との話し合いも軌道に乗り、互いの主張を理解したうえで WIN.WIN の関係が信頼をベースに築かれつつあります。ようやく互いの主張がかみあい「いい関係」が歩み始めているのではないかと感じています。

ところで、ワークホームは障害者の就労支援事業所であり、とりわけ障害の重い方でも働ける場を提供することが私たちに課せられた使命だと思っています。GOTO との関係が安定してきた今だからこそ、ようやく本来の就労支援専門施設の取り組みが可能となる条件が整ったと思っています。重い障害者でもしっかりと働けて、それなりの工賃も保障できる就労支援施設、そして、社会就労を目指す人は数年でワークを卒業して、就労移行支援や就労継続A型、一般就労へと育っていく、それがワークの将来像ではないかと考えています。

そこで、最近強く思うようになってきたのが、機械導入による作業効率の向上と作業の「わかりやすさ」についてです。クリーニング作業で主として自閉症の方が行っているシーツ機械への投入作業については、作業スピードを機械に合わせることで一定の作業効率が確保され、また、リズムミカルな動きが自閉症の方にはわかりやすいようです。機械のリズムに自分を合わせる力さえあれば、健常者にも負けないスムーズな作業が可能なのです。もちろん、シーツの端を3センチ外に出すというような細かい作業のコツはありますが、決して難度の高いものではないのです。次年度は、「機械導入による自閉症支援の有効性について」(仮題)をテーマにクリーニング担当の職員には論文を整理するようにとの課題を与えています。

折しも、先日の GOTO との会議で、新たな機械導入について一緒に検討・研究しようとの話が安杖社長から提案され合意に至っています。勿論、メリットもデメリットもありますので、慎重に検討を進めながら、次年度は新たな機械導入と作業についての一定の方向を打ち出したいと考えています。保護者会の方々にはその都度ご相談しながら進めたいと考えていますので、次年度についても変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者会 1年を振り返る会

2月19日(日)に保護者会による1年を振り返る会が行われました。まず最初に施設長より今年度のワークホームにおける事業報告後、1年を振り返るスライドを鑑賞しました。クリーニング・納豆両班の作業報告をした後、保護者さんの意見交換の場では、お子さん達の将来を見据え、グループホームの話が活発に行われました。



GOTO との会議報告

2月8日(水)に GOTO 安杖社長、岡本工場長、三原園長、齋藤園長、藤原事務局長、楠で今年最初の会議を開催しました。今回は特に作業量についての具体的な話し合いがなされました。特に増産という点に置いては、GOTO より、具体的な形を提示していただいたり、良い意見交換ができたのではないかと思います。今後は工賃向上を中心に慎重に話し合いを続けていきたいと思っています。

3月行事予定

- 3月1日 (水) サークル活動
- 3月8日 (水) 工賃支給日、清掃
- 3月15日 (水) 防災訓練
料理クラブ (小南、梅原、木本、大谷)
※ 防災訓練は 16:30 までの予定としておりますのでお迎えの方はご注意ください。
- 3月22日 (水) 職員会議日
※ 会議の為 15:00 終わりです。お迎えの方はご注意ください。
- 3月29日 (水) お疲れさん会
※ 17:00 終了を予定しておりますのでお迎えの方はご注意ください。

3月の指定休

- 1班: 2・9・16・23・30・日曜日、2班: 3・10・17・24・31・日曜日
- 3班: 4・11・18・25・日曜日、4班: 6・13・20・27・日曜日
- 5班: 7・14・21・28・日曜日、6班: 1・8・15・22・29・日曜日
- 7班: 土・日曜日

クリーニング班

作業トピック～タオル作業～

昨年8月にタオル作業のスタイルを変更し、半年が経ちました。以前のタオルの山から、各個人用のタオルをセットすることにより個人の生産量の把握が可能となりました。また、作業スペースも確実に確保できるようになり、より効率的な作業ができるようになりました。加えて一日の自分の作業目標が明確に持てるようになり、作業への意欲向上に繋がったのではないかと考えています。

総生産数自体も上がってきています。今後もより働きやすい環境整備を追求していきたいと考えています。(楠)



今月の担当は楠でした

1月29日 ワークホーム高砂小旅行 ~IN 京都~

湯の花温泉「溪山閣」・京都鉄道博物館



今年もワークホーム高砂日帰り小旅行を1月29日に行いました。今年の行先は京都で、大型バス1台に利用者さん、職員全員が乗り込み9時にワークホームを出発しました。道中バスの中ではクイズ大会が行われました。京都にちなんだ問題が出題され、自信満々に答える人、職員と相談しながら答える人、自信満々に答えて間違い大爆笑を誘う人と様々でしたが、退屈することなく目的地に向かうことができました。また、バス一台にすることにより、全員がすごく一体感を持てたように感じました。

まず最初の目的地は、湯ノ花温泉『溪山閣』、ここでは宴会を行いました。京都らしい会席料理を楽しみながら、カラオケ大会も行われました。みんな得意の歌を披露し、食べて・歌って・踊って本当に楽しい2時間があっという間に過ぎていきました。

お腹もいっぱいになったところで、バスに乗り込み次に向かったところは、昨年オープンしたばかりの京都鉄道博物館。電車好きが多いワークホームの利用者さん達、テンションはマックスで到着しました。まず初めにみんなで記念撮影をし、いよいよ館内に出発です。新幹線・特急列車・SLと様々な鉄道に関するものがありましたが、みなさんきちんと自分の見たいものを持っておられ、「あれを見に行こう!」「これに乗ってみよう!」ととても積極的でした。(作業中においてもここまでの積極性があればな、と思うほどでした。笑) お土産コーナーが大混雑していましたが、大きなトラブルもなくお土産を購入し、全員無事に予定通り18時にワークホームに帰ってきました。

小旅行終了後の最初のサークル日には、皆さんに小旅行の思い出を書いてもらいました。そこにはイラストや楽しかった思い出が、思い思い自分の表現方法で書かれていました。それをまとめてみると一つの文集が出来上がりました。旅行自体もとても良かったのですが、私はこの文集を見たときに「あ〜良かったなあ」と思いました。来年はどんな旅行になるのかとても楽しみです。



1月、2月の料理クラブ報告

1月26日、利用者の伊集院さん、岡本さん、本田さんと引率の桂で料理クラブに参加しました。感染性胃腸炎やインフルエンザが流行していた時期でもあり、利用者の方には調理の前に丁寧に手を洗ってもらいました。今回は、「ハンバーグ」「白菜のパリパリサラダ」「きのこの吸い物」「あん餅」と豪華な内容でした。あん餅づくりでは、みんなで輪になって和気あいあいと楽しく作ることができました。自分たちで料理しただけに、普段よりもおいしく感じた昼食でした。(桂)

2月8日、利用者の岩西さん、大野さん、木澤さん、藤野さんと引率の岡田で料理クラブへ行ってきました。当日のメニューは「巻きずし」「牡蠣と長芋のピリ辛炒め」「なめこの味噌汁」「豆腐のみたらし団子」でした。一人ずつ先生と巻いたのですが、みなさんその難しさにかなり苦戦されているようでした。季節感のある料理で全員で美味しくいただきました。(岡田)



月刊「ワークホームだより」 4月号

発行:平成 29年3月24 日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



助走から飛躍の年に



ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

新年度が始まりました。3月20日からは、特別支援学校高等部を卒業したばかりの新しい仲間を三人迎えています。今年の目標は、「飛躍」です。今年は、私がワークホームに来て5年目の節目の年となります。これまでの歩みが助走期だとすれば、いよいよ飛躍できるかが大きく問われる年になりそうです。

先ず、クリーニング事業については、GOTOとの協力関係をベースに、工賃向上に向けた取り組みと利用者の安全で安心な作業環境が保障できているかを再点検しながら改善に取り組むこととしています。また、納豆事業については、事業の安定化に向けて新しい作業場の確保をめざすとともに、安全で衛生的な作業環境づくりに取り組みたいと思っています。両方の事業とも、5S運動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)をしっかりと意識し、これまでの自分たちの実践を再点検しなければならぬと思っています。

地に足を付けた実践を展開するためには、何よりも「チーム力」が試されますが、それには、職員間のさり気ない支えあいと互いの感謝の気持ちが大切です。「お疲れさま」や「ありがとう」の言葉が飛び交う明るい職場づくりを目ざしながら、仕事に対する厳しさも職員には求めていきたいと思えます。そうした中で、利用者が少しずつ成長を遂げ、ご家族もその成長に喜びを感じ、職員も自己実現できる、そんな素敵な職場に一步でも近づきたいと思えます。

「助走は長いほうが遠くに跳べる！」とのこと。この一年が「飛躍」の年となるよう、関係各位のご支援とご協力をよろしくお願いします。

保護者企画委員会が開催されました！

～ 次年度の総会は5月21日(日曜)に開催予定！ ～

3月11日(土)、ワークホームの会議室において保護者企画委員会が開催されました。今回の委員会には藤野会長をはじめとして15名の方が出席され、平成 29 年度の事業計画について議論されました。主な事業内容については、概ね平成 28 年度と同様に行事を組む方向で検討がされました。新たな行事としては、バーベキュー大会や親子日帰り旅行などの親子の行事を取り入れることが検討されています。平成 29 年度事業や予算については、総会で決定する予定です。なお、総会については、5月21日(日)にワークホームにて開催することが決まりましたので、より多くの保護者の方々の出席をお願いします。

4月行事予定

- 4月5日(水) 職員会議日
※会議の為 15:00 作業終了となります。
- 4月12日(水) 料理クラブ
サークル
工賃支給日
- 4月16日(日) 保護者企画委員会
- 4月19日(水) 清掃
- 4月26日(水) サークル



4月の指定休

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1班 1・8・15・22・29・日曜日 | 2班 3・10・17・24・日曜日 |
| 3班 4・11・18・25・日曜日 | 4班 5・12・19・26・日曜日 |
| 5班 6・13・20・27・日曜日 | 6班 7・14・21・28・日曜日 |
| 7班 土・日曜日 | |

※今月より作業班・休日班の一部変更があります。別紙をご確認ください。
※担当職員については4月に発表させていただきます。



真剣な表情で防災訓練を実施！！

3月15日、避難訓練、通報訓練、消火訓練の3つを行いました。東日本大震災から6年が経ち、徐々に記憶や危機感等が薄れていっている中で、改めて防災訓練の重要性を感じながら、職員や利用者さんに防災への意識を高めていく為にとっても大切な行事として位置づけ実施しました。おりしも、前々日に愛媛県のグループホームで火災があり入居者の方がお亡くなりになったばかりでしたので、みなさん真剣な表情で訓練に取り組んでおられました。今回は火災での避難を想定したものであった為、避難する際には、職員も利用者さんも鼻と口を手で抑えて、緊迫感のある避難訓練になったと思います。その甲斐あって、目標にしていた3分を大きく下回り、1分54秒という記録で避難することが出来ました。今回の防災訓練を機に、常日頃から危機感を持って日々過ごして行きたいと思えます。(桂)



今月の担当は三輪でした

新利用者紹介

今年度より、ワークホームに新しい仲間が3人加わります!! みなさん、4月から社会人として働いていく為に、3月20日よりワークホームに来られて早速作業等を覚えているところです。写真左から、中岸奨斗さん、有瀬奈津芽さん、三村慧悟さんです。中岸さん、有瀬さんはたたみ班、三村さんは仕分け班とシーツ班で作業を頑張っておられます。

フレッシュなメンバーと共に29年度を出発していきたいと思っております!!

(宮本)



新任職員紹介

名前 : 吉中 波緒人 (よしなか なおと)
 血液型 : A型
 趣味 : 読書・ランニング
 休日の過ごし方 : 掃除・買い物
 座右の銘 : チャレンジしない者に成功なし
 利用者・保護者の方に一言 : 仕事がしやすい環境を作れるよう
 元気いっぱいサポートしていきたいと思っております。
 好きな食べ物 : カルボナーラ・ハンバーグ



グループホームの夕食が変わりました!

～あかりの家からの運搬がスタート～

3月1日から、グループホームの夕食が、あかりの家の調理員の人たちをお願いすることになり、オリーブの家の遅出職員が運搬を担当し主に吉中支援員が行っています。吉中支援員は、あかりの家から2つのグループホームの夕食を受け取り、まずは希望山荘へ届けてくれます。希望山荘の利用者全員が夕食の到着を楽しみに待っています。メニューはエネルギー・栄養量が計算されたもので彩もよく、職員も「今度家で作ってみよう♪」という気分になり、毎回タッパーを開けるのが楽しみになっています。あかりの家調理員の方々には、お手をわずらわせることとなりますが、これからもよろしくお願ひします。

(木澤)

料理クラブ

3月15日、梅原さん、木本さん、小南さんと大谷で料理クラブに行ってきました。今回のメニューは「ひな寿司」「小松菜と桜エビの和え物」「厚揚げの肉詰め」「みぞれ汁」「イチゴ大福」でした。みなさんイチゴ大福の皮を包むのに苦戦されましたが、楽しく行うことができました。ひな寿司はひし餅にみたててあり、季節感のあるものばかりでおいしくいただきました。

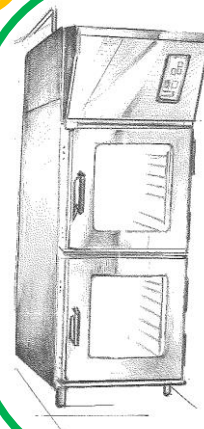
(大谷)



“なっとこちゃん”トピックス!(^^)!

先日、スーパーYAMADA阿弥陀店でお買い物をしていると「～生産者直売コーナーに置いてあります“なっとこちゃん”。私は毎日食べているんですが、この“なっとこちゃん”品質にしたら奇跡の価格なんです。そして最近、なぜかよく売れているんです～」と、癒されるような声の店長さんの放送が何度もくり返し流れてきたのです。「最近なぜかよく売れているんです」のフレーズが何度も何度も耳に入り、とても照れくさいような嬉しいような気分になりました。でも、実際「なぜかよく売れている」感じがするんです。日々、ドキドキしながら手づくりしていますが、このような励ましをいただき、ますます頑張っています!

PS: 新しく発酵機が入りました。実は、納豆作り用の“醗酵室”は作れても“発酵機”は無いので、業務用のパンの発酵機なんです。試行錯誤しながら、新しい発酵機で“なっとこちゃん”作りを初めています。(西野)



1年間

おつかれさま
 でした。



ワークホーム 高砂・グループホーム 職員一同

(イラスト: miwa)



月刊「ワークホームだより」 5月号

発行:平成 29年4月21日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

プロのサッカー選手をめざす彼から学んでいること・・・



ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

先日、オリーブの家の宿直に久しぶりに入った。入居利用者と遅出職員のやりとりを見てつくづく考えさせられた。その日の遅出職員は、3月から職員になったばかりの吉中支援員(彼については前月号で紹介)。彼は、今年の春に大学を卒業してプロのサッカー選手になりたくて、バンディオンセ加古川という社会人サッカーチームに所属し、練習のない午後から夜にかけてワークホームとオリーブの家で支援員として働き、週に4日、オリーブの家の遅出勤務を担ってくれている。

夜の8時30分にオリーブの家に行くと、食事や入浴、洗濯も全て終わってみんなゆったりとくつろいでいた。畳の部屋では、入居者のOさんがテレビを観ていて、そのそばでIさんが寝転んでうたた寝をしていた。Tさんはいつものように自室で「お勉強」の最中。そして、リビングでは吉中支援員とTさんが椅子に座ってテレビを観ていた。静かにゆったりと時間が流れていた。「なかなかみんな落ち着いていい感じだね!」と吉中支援員に声をかけると、「いつもこんな感じです」とのこと。内心、「凄いな、わずか1カ月で利用者とはここまで《関係》を作るとは・・・」と、感心させられた。

吉中支援員との話題は、僕も大好きなサッカー談義である。彼には、チーム練習の裏話や戦術、或いはポジションを務めるうえでの心構えなどを教えてもらう。福祉とは全く違う世界の話で大変興味深い。その中で気づいたのは、サッカーの基本は「自立と連携・連帯」。つまり、個々人の洗練された技とチーム力とが相互に噛み合っこそ強いチームになるのだということ。そして選手には、メンバー個々の特徴をつかみ、それを戦術に瞬時に活かせる能力が求められるということ。何か、私たち福祉現場の基本と通じるところがあるのではないかと。吉中支援員を見ていると、幼いころからサッカーを通して「個」と「組織」の関係を無意識のうちに学び、「自分」と「メンバー」そして、「相手」を瞬時に「見抜く」能力を身に付けてきたのではないかと感じさせられる。だから短期間で自閉症の利用者を理解し、個々の利用者に応じた距離間で付き合ってもらえるのだろうと思う。吉中支援員は、そんなことを意識している訳ではないのだと思うが、利用者にとってはぶれない彼の距離間が心地よく、「わかりやすい」のだと思う。宿直時に見た利用者の落ち着きは、そんな吉中支援員のサッカー選手としての能力が、自閉症支援にも存分に活かされている証拠なのではないかと感じた。もちろん、これは僕の一方的な見方だし、まだまだ途中経過。これからも興味深く観察させてもらおうと思っている。

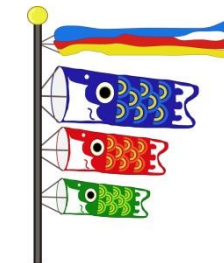


〈 保護者会総会(5月21日)にご出席ください! 〉

4月16日、ワークホーム高砂の食堂にて保護者会役員会(企画委員会)が開催され、15名の保護者の方が来月に開催される保護者会総会の議案について検討しました。藤野会長の進行により進められた役員会は、前年度の事業報告や決算の内容を確認し、平成29年度事業計画と予算について意見交換を行い、総会に諮る議案を決定しました。

保護者の方々には、5月21日(日)10時から開催予定の総会には是非とも出席いただき、保護者会活動に対するご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

5月行事予定



- 5月3日(水) 清掃
- 5月10日(水) サークル・工賃支給日
- 5月17日(水) サークル
- 5月21日(日) 保護者会総会
- 5月24日(水) 料理教室・職員会議 ※会議の為15:00作業終了となります。
- 5月26日(金) ぼんたん親善運動会
- 5月27日(土) のじぎくスポーツ大会
- 5月31日(水) サークル

5月の指定休

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1班 1・8・15・22・30・日曜日 | 2班 2・9・16・23・31・日曜日 |
| 3班 3・10・17・24・日曜日 | 4班 4・11・18・25・日曜日 |
| 5班 5・12・19・26・日曜日 | 6班 6・13・20・27・29・日曜日 |
| 7班 土・日曜日 | |

お花見会を開催!!



4月12日、出席者全員で天川東公園へお花見へ行きました。時期がちょうど合ったこともあり、桜が満開の時に開催することができました。公園では桜餅や饅頭などのお菓子を配り、全員思い思いの場所で楽しんでいました。全員で集合写真を撮るときには、お互いに声を掛け合いながら一番いい写り方を教えあっていました。これからもこういった機会を増やしていき、ワークホーム高砂メンバーとしての団結を深めていければよいと思います。(松藤)



今月の担当は桂でした。



料理クラブから料理「教室」へ

料理クラブは、今年度より『料理教室』という名前で新しくスタートを切り、『就労や生活の自立』をテーマに社会性を養う場として活動していくことになりました。

またメンバーも固定し、女性チームと男性チームが交代で参加していく予定です。

(メンバーについては下表のとおりで、公休の振替は予定しておりません)

	職員	利用者メンバー
女性チーム	岡田	伊集院さん・岡本さん・木本さん・森川さん
男性チーム	中右	梅原さん・梶並さん・光宗さん・森崎さん



4月12日は、公休の伊集院さんを除く女性チームで本年度初めての「料理教室」へ行って参りました！！
今回のメニューは、『豚肉のロール焼き・玉ねぎとさけるチーズのサラダ・白菜と塩昆布のサラダ・じゃがいもとコーンの味噌汁・さくらもち』の季節感のある健康な5品です♪

料理教室で作るメニューは毎回レシピをお渡しするので、家庭で作られた際には、ぜひワークホームの職員へ感想を教えていただくと嬉しいです。(岡田)



月に一度の清掃日

月に一度、水曜日の作業後に自分たちがいつも利用している作業場や公用車、WH周辺の掃除を全利用者さんと職員で行っています。自分たちの作業場は自分たちでキレイにして、気持ちよく作業できるようにこれからも月に1度の清掃日をしっかり位置づけていきたいと思ひます。(桂)



平成29年度作業班運営方針

「社会性」をテーマに工賃アップを目指す！！ クリーニング班

3月から新しいメンバーを加え、気持ちも新たに出発したクリーニング班ですが、今年度はまず、以前からの最重要課題である「工賃アップ」に取り組んでいきたいと考えています。特に利用者さんの技術向上という点をどう第三者に具体的に伝えていくかがクリーニング班職員の使命と思っています。また昨年度から行っている清掃班につきましても、クリーニング作業だけでは身につける事の出来ない社会性をテーマに取り組んでいきたいと思っています。

今年度は、利用者個々の課題に則した作業支援ができるように職員一同がんばっていききたいと思いますので、ご意見・ご要望があれば気軽にお声掛けをお願いします。(楠)

「なっごちゃん」今年度は小粒に挑戦！ 納豆作業班

納豆班は6名の利用者さんと職員2名～4名が月曜日から土曜日まで働いています。狭い空間で仕事をしていると、隣の人の熱気・緊張感・スピードがヒシヒシ？と伝わってくるため『お仕事モード』に切り替えられているようです。食べる物を作っている「責任感」を大切に育みながら、チームワークを大切に楽しく納豆づくりを続けていきます。

そして今年度は、なかなか実現できていない“小粒納豆”作りにも挑戦しようと考えています。北海道産十勝大豆にこだわってはいますが、少しずつ他の地方の大豆も調べていきたいと考えています。納豆人口を増やし、健康食品「納豆」の良さを広めなが、みんなの工賃アップにつながっていけるよう頑張っていきます。(西野)

オリーブの家の清掃班から就労へ

本年度に入り本格的に「清掃班」がスタートしました。この班ではクリーニング班や納豆班のように集団で作業するのではなく、最初から最後まで1人で責任を持って“仕事”を行うことを目的に取り組み、また、清掃だけではなく就労に必要な挨拶、報告、連絡、相談を意識した作業班としてスタートさせました。

オリーブの家へ掃除に行く前には、施設長に今からオリーブの家へ行くことを報告するのですが、この報告は普段の作業班では味わえない緊張感のあるものとなっています。

緊張感のある清掃班で、責任ある仕事の仕方を身に付け就労に向け一歩ずつ進めていければと思います。

(桂)



新人職員紹介！！

- ・名前：沼田 美佐子 (ぬまた みさこ)
- ・血液型：AB型 ・趣味：趣味を探し中です。
- ・好きな食べ物：お寿司、焼肉
- ・みなさんに一言：皆さんと楽しく仕事ができるようになっていきたいです。
よろしくお願ひします。



月刊「ワークホームだより」 6月号

発行:平成 29年5月25日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

二つの新聞記事

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

5月16日付の神戸新聞朝刊に気になる記事が二つ出ていた。

一つは、「バレー部員にボール当てる」という見出しの記事。少し記事を引用すると、「大阪府立高校で男子バレーボール部の練習中、顧問の男性教諭が部員の生徒一人に、繰り返しボールを激しく当てる動画がインターネットに投稿されていた。生徒にけがはない。同校によると、男性教諭は聞き取り調査に『指導の一環だ。別の部員に対しても同じ練習をしている』と体罰には当たらないと説明しているという。ボールを当てられていた高校2年の生徒も練習との認識を示しているが今後は別の生徒にも事情を聴く方針」という内容。少し年配の方なら「アタックナンバー1」や「サインはV」を思い浮かべ、そんなのが記事になるのか・・・とため息をつくに違いない。だけど、障害者虐待防止法の中で日々支援にあたる私としては、「体罰」や「虐待」について改めて考えさせられる記事だった。

もう一つの記事は、「高速道に男児はねられる」という大きな見出しの記事。「今年の3月、神戸市垂水区の淡路鳴門自動車道に当時小学6年の男児が迷い込み、乗用車にはねられて脚の骨を折る重傷を負っていたことが15日、関係者らへの取材で分かった。同長田区のNPO法人が手掛ける障害児向け放課後デイサービスを利用中、集団からはぐれたとみられる。法人は見守り態勢に不備があったことを認めたが、男児の保護者が診断書を提出せず、兵庫県警は物損事故として扱い、公表していなかった。」という内容。この記事をもっと読み進めると、スタッフ約10人で約20人の子どもを見守っており、担当者が別の子どもの対応をしていて目を離したほんの僅かな時間で事故だったらしい。考えさせられるのは次の内容で、「県警によると、男児が病院に搬送されたことを受け、保護者に診断書の提出を求めたが、応じていないため現時点では負傷者がいない『物損事故』扱いにしている」という。保護者は神戸新聞の取材に、同法人を通じて応じない意向を示している」という。

新聞記事はあくまでも記者のフィルターをとおして「恣意的」に書かれることも少なくない。だから、大した事件でもないのに大きく扱ったり、その反対だったりする。だけど、記事を自分の頭で考えて読むことは必要だし、社会を知る手段として「新聞」は大事なツール。この二つの記事は、障害者の支援を考えるうえで無視できない内容を含んでいると私は思っている。

保護者会総会が開催される！

5月21日、ワークホーム高砂の食堂において平成29年度保護者会総会が開催され、平成28年度事業報告並びに決算が承認され、また、平成29年度事業計画・予算についても賛成多数で承認されました。本年度事業の特徴としては、9月に親子のレクレーション事業が企画されるほか、昨年からの暑さ対策として実施しているスポーツドリンクの配布を本年度は保護者会として実施することが決まりました。そのほか、納豆作業場の新築に伴う備品の補助なども決定され、例年実施している保護者研修会やクリスマス会なども計画されていますので、たくさんの保護者の方の参加をお願いします。



6月行事予定

- 6月7日(水) サークル・料理教室
- 6月14日(水) 清掃
工賃支給日
- 6月18日(日) 保護者環境整備・役員会
- 6月21日(水) 職員会議
※会議の為 15:00作業終了となります。
- 6月28日(水) サークル

6月の指定休

- 1班 6・13・20・27・日曜日
- 2班 7・14・21・28・日曜日
- 3班 1・8・15・22・29・日曜日
- 4班 2・9・16・23・30・日曜日
- 5班 3・10・17・24・日曜日
- 6班 5・12・19・26・日曜日
- 7班 土・日曜日

障害を知らせる「ヘルプマーク」JISに登録、全国統一へ

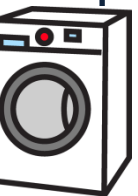
2012年10月、東京の福祉事業として作成されたヘルプマーク。ヘルプマークとは、外見からは分からなくても援助が必要な方が身につけるマークです。同マークがJISに登録、全国統一で認知されることになり、高砂市障がい者自立支援協議会の発行する同マークのパンフレットのイラストを縁あってワークホームの三輪が担当させていただきました。高砂市において同マーク普及、支援のお役に立てればうれしいです。(三輪)



GOTOとの会議が開催される！

4月25日、今年度初めてとなるGOTOとの調整会議を行いました。まず、年度初めということで今年一年の年間スケジュールを確認しました。また、今年度は医療関連サービスマークの更新年となっていますので更新の基本的な考え方の確認、問題点の共有を行いました。

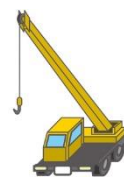
現在、作業量・機械更新・工賃財源等の難しい課題がありますが、GOTOとワークホームの両方で意見を出し合い、利用者さんにとってより良い労働環境が作れるよう今後も会議を重ねていきたいと思っております。(楠)



今月の担当は西野でした。

仕分け班のコンテナハウスを移設

5月14日、あかりの家から譲り受けたコンテナハウスを駐車場から玄関横に移設しました。このコンテナハウスは、仕分け班作業利用者の着替えと休憩場所に活用するためのもので、これまでは約100m離れた東側駐車場の端に仮設置していたため大変不便でした。コンテナハウスの中にはエアコンも設置されており、快適に休憩できるようになっています。今回の移設によって作業場近くとなり大変便利になるとともに、作業効率も良くなりました。(楠)



お昼休みのひととき

本年度から、お昼の“わーくわく喫茶”の方法を、これまでのセルフ方式から担当の利用者さんが職員と一緒にコーヒーを提供する方法に変更しました。この方法を取り入れることにより、日頃あまり関わっていない利用者さんともゆっくりと関わり、生活面での話など作業中には聞けないような話をするできるようになりました。また、コーヒーの提供により、利用者さん同士のかかわりもできているのではないかと思います。このことを通して、より豊かな生活のお手伝いできればと思っています。(大谷)

わーくわく喫茶
OPEN!



きれいにカップを洗って
～また明日!(^~)!

オリーブの家

清掃を通して地域と繋がりを

5月14日(日)はオリーブの家がある米田地区の環境整備の日でした。晴天の中、オリーブの家の利用者さんたちは、周辺の地域の方々と一緒に水路および周辺の清掃に参加させて頂きました。オリーブの家からは利用者の大西さんと竹林さん、職員の桂と中右が参加し、普段関わりの少ない地域の方々と触れ合うことができました。また、オリーブの家の事を知らない人たちにも利用者のことを少しでも知っていただける良い機会だったと思います。(桂)



料理教室

今回の料理教室は“自立に向けた男子チーム”ということで、梅原さん・梶並さん・森崎さん・光宗さんの4名が参加しました。引率は栄養士の資格も持つ私・中右が担当しました(1人です)。今までは“楽しい料理クラブ”でしたが、「料理教室行ってきます」と施設長に伝え出発しました。お世話になる先生への丁寧な言葉遣いも気を付けながら、真剣な表情で取組まれていました。エプロン姿も様になっていると思いませんか(^~♪ (中右)



厨房のコンロを新調しました。

4月27日、厨房のコンロを新調しました。これから徐々に(すでに!?)暑くなってきて、お茶がたくさん必要になってきます。もともとコンロは3口しかなく沸かすのに時間がかかっていましたが、新調して6口となり大変効率よくお茶を沸かせるようになりました。(藤本)



一度に6個沸かせるようになりました。

グループホーム体験入居

“友愛の家”が4月に開所され、法人のGHが3か所になったこともあり、将来を視野に入れ、親元から離れた生活を体験する方が増えています。期間も10日から2週間程度と長いです。ホームシックになったり、不自由さを感じておられる方もありますが、段々と打ち解けられ仲良く過ごされています。自立に向けた良い練習の場となっているようです。(西野)



希望山荘日笠

工賃評価の考え方

今年度から工賃評価表を見直し、新しい様式で評価をしています。新しい様式では、挨拶や身だしなみなど「社会性」の評価を追加し、社会人として働くための基本を評価対象に入らせていただきました。工賃評価については難しい問題がまだまだ山積しています。今後も職員一同、最良な工賃評価に向け検討していきたいと思っております。(楠)

職員代表者会に参加

今年度から、播但地区の研修委員会の担当を桂がさせて頂くことになり、4月21日に行われた平成29年度播但地区施設長会総会と施設長・職員代表者合同会議に、今回初めて参加させていただきました。他の施設の方と交わる機会が少ない中で、これを機にたくさんの方と交流を深め、ワークホームの職員として恥じぬようやっていきたいと思っています。(桂)



月刊「ワークホームだより」 7月号

発行:平成 29年 7月 22日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



「感謝」の気持ちを忘れずに!

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己



ワークホーム高砂を運営する私の役割は、事業所をスムーズに運営することに尽きるのですが、そのためには、障害者と家族のニーズに応えるための優れた専門技術と安定した経営のためのノウハウが不可欠です。しかし、加えて、私たちの頑張りを助けてくれる方々(「応援隊」)がどれだけいるのか、という視点も大切だと思います。私は、ワークホームの応援隊を大きく二つに分けて考えています。一つは、保護者の方々(「保護者会」)、二つには、地域の方々です。

先日、保護者会の恒例行事である「環境整備行事」が実施されました。日曜日の私的な時間を割いて暑い中を37名の保護者と利用者の方にワークホーム周辺の除草作業をしていただき、作業終了後には保護者会が準備して下さったお弁当を食べながら談笑し、心からの感謝の気持ちで一杯になりました。

地域の「応援隊」という点では、ワークホームの敷地に隣接する地主さんたちのご協力も忘れてはならないと思います。ご存知のようにクリーニング事業は、機械の騒音や埃など周辺の方にとっては決して好ましい事業ではありません。ですから、苦情が頻繁にあっても仕方ないわけですが、有難いことに私が施設長になって5年になりますが、苦情らしきものをあまり聞いてはいないのです。特に北側の隣接地である「松本商会さん」には、開設以来駐車場として土地をお借りし、ワークホームの運営にご協力いただけてきました。昨年、ワークホームとして、ようやく駐車場を持つことができ、先月(5月)末でお借りしていた土地をお返ししましたが、これまでのご協力に感謝するとともに、今後とも何かとお世話にならなければならないと思っています。

このように、事業所を運営するためには、自分たちの力だけではどうにもならないことが少なくありません。法人あかりの家後援会の柿木会長をはじめ、あかりの家の関係者も含めて全面的に協力していただける「応援隊」の方々がいればこそスムーズに事業所運営ができるのだということを改めて肝に銘じておきたいと思います。そして、何よりも利用者の方々、ワークホームに毎日楽しく通い、生きがいと働きがいを持ち充実した人生を過ごして行けるよう、これからも利用者地域を大切にしながら事業所運営を進めていきたいと思っています。

ワークホームの紹介パネルを作製!

6月24日に神戸国際展示場で開催される「福祉の就職総合フェア inHYOGO」に向けて、このたびワークホームを紹介するパネルを作製しました。今回作成したパネルは、クリーニング事業や余暇活動を紹介するものです。各作業班の紹介やサークルを写真でわかりやすく紹介しています。納豆作業や「なっとこちゃん」については、既に手作りパネルがありますので、フェア当日には、ワークホーム外観のパネルを併せ3枚のワークホーム紹介パネルで学生を引き付けてみようかと計画しています。当日は、桂がワークホームを代表して行く予定で、素敵な新任職員さんに来ていただけるよう、法人あかりの家とワークホーム高砂の素晴らしさをアピールしていきたいと思っています。(桂)



7月行事予定

- 7月5日(水) 清掃 料理教室
- 7月12日(水) サークル
工賃支給日
- 7月16日(日) 保護者会環境整備・保護者役員会
- 7月19日(水) 会議日
※会議の為 15:00 作業終了となります。
- 7月26日(水) サークル

7月の指定休

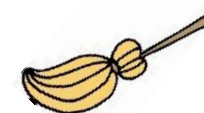
- 1班 5・12・19・26・日曜日
- 2班 6・13・20・27・日曜日
- 3班 7・14・21・28・日曜日
- 4班 8・15・22・29・31・日曜日
- 5班 1・3・10・17・24・日曜日
- 6班 4・11・18・25・日曜日
- 7班 土・日曜日

保護者会活動 清掃作業

6月18日(日)に、保護者会で清掃活動をしていただきました。当日はとても暑い中、保護者さん、利用者さん合わせて37名の方にご参加いただきました。今回は駐車場の緑地帯と以前まで借りていた松本商会の土地をきれいに除草していただきました。

これだけ大人数でしていただくともみるみるきれいになっていきました。本当にありがとうございました。

次回は7月16日の予定をしていますので、今回参加された方ももしよろしければご参加よろしくお願いいたします。(楠)



今月の担当は楠でした

のじぎくスポーツ大会(陸上)出場!

5月27日(土)に三木総合防災公園で行われた、のじぎくスポーツ大会に参加しました。ワークホームからは、浅野さん(走り幅跳び)、稲城さん(800m)、小南さん(800m)、丸山さん(800m)の4名が参加し、見事金メダル2つ(浅野・小南)、銀メダル1つ(丸山)を持って帰ることが出来ました。

当日は天気にも恵まれ、参加者のほとんどの方が本来の力を出すことができたと思います。

来年は今まで参加したことがない利用者さんの方にもどんどんチャレンジしてもらいたいと思います。(桂)



快晴の中、いい汗ながしました! ~ばんたん親善運動会に利用者6名が参加~

5月26日、伊集院さん、大野さん、岸本さん、木本さん、永田さん、西谷さん、中右職員とで「ばんたん親善運動会」に参加しました。宮本も準備や演技誘導等の実行委員として参加させていただきました。この時期は毎年天気が心配されますが、今年は晴れ中の晴れ!快晴で運動会を行うことができました。みなさんこんがり日焼けして帰ってきました(笑)。

今回は、普段とは違う「環境」で他施設の方も大勢おられる環境でしたが、みなさん楽しんで参加されていました。手が痛くなりながらも必死に綱を引いたり、「玉入れ」では、自分が投げた玉が入ると自然と笑顔がこぼれたり、ジンギスカンの曲を口ずさみながらみんなで踊ったり、普段は見ることができない利用者さんの表情をたくさん見ることができました。(宮本)



なっとこちゃん号、走っています!



納豆作業の移動・配達に使用している公用車2台に「なっとこちゃん」ステッカーを製作しました。納豆班の職員と利用者さんの「やる気」につながるよう、そして、地元の方にもっともっと「なっとこちゃん」を知っていただけるように、デザインを考えました。

「なっとこちゃん号」は姫路・高砂・加古川を走っていますので見かけたら応援してくださいね! ^(^)ノ (三輪)



梅を収穫!

6月14日、グループホームのメンバーで梅の実の収穫をしました。この梅の木は、地域の方が法人に寄附をしてくださった土地に植栽されているもので、希望山荘から日笠山に100メートルほど歩いたところにあります。今年も立派な梅ができていて、300個程の梅の実を収穫しました。参加した利用者の方は、梅を収穫するのが初めてで、最初は少し戸惑いもみられましたがすぐに慣れた様子で、楽しく上手に収穫することができました。収穫した梅はあかりの家で「梅ジュース」に加工される予定で、今度はみんなで梅ジュースを飲もうと、心待ちにしています。(松藤)

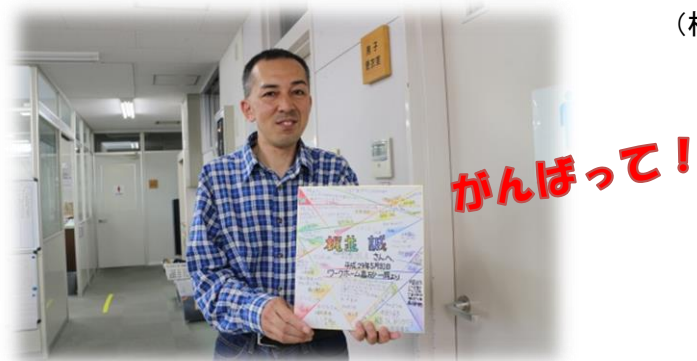


イメージ

梶並さん「移行支援事業所」へステップアップ!

5月31日、長年ワークホームと一緒に働いてきた梶並さんが就労移行支援事業所「アシストワン」へ行くことが決まり、ワークホームのみんなで応援する送別会を行いました。梶並さんは以前から一般就労を希望されており、今回その前段階として移行支援を受けることになりました。

長年ワークホーム高砂で働き本当にお疲れ様でした。ここで学んだ事を、次にも活かして頑張ってください。(桂)



がんばって!

くすのき公園清掃作業

法人あかりの家が高砂市から受託している「くすのき公園」の清掃業務を今年度からワークホームが担当することになりました。6月14日、利用者さんと一緒に今年度初めての除草作業に出かけました。公園は自分の身の丈ほどもある草に囲まれていて、どこから手を付けて良いものかと戸惑いましたが、まずは入り口から作業を始めました。草が無くなると、高台の大きなくすの木の木陰に吹く風もさわやかに感じられるようになりました。

今回は、希望山荘の入居者が清掃を行いましたので、「きれいになったら休日はここで昼食をとりたいね」と、話をしながら帰ってきました。(楠)



Before

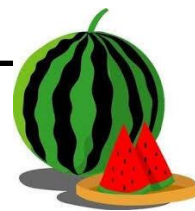


After



月刊「ワークホームだより」8月号

発行:平成29年7月24日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



「自己研鑽」をどう考えるか！

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

この仕事に就いた頃、夏の休暇を利用して障害者施設の見学によく出かけた。近藤原理先生が主催する研究会に参加したり、池田太郎先生に会いたくて「信楽」に出かけたのも暑い夏だった。「施設の日課はこれでいいのか、自分の日々の実践はこれでいいのか、自分は何を目指して日々仕事をすればいいのか」と、思い悩んでいたからだと思う。大学時代の先輩が働く作業所で利用者の生き生きとした姿に触れ、今の自分の取り組みを反省し、「施設を改革しなければ！」と上司に食って掛かった若かりし日々が、夏になると鮮やかに蘇ってくる。とにかく、真剣に真摯に利用者向き合いたくて、一生懸命だった。あの気持ちこそが、自己研鑽の原動力なのだと思う。

最近、業務に関連することを私的な時間に行うことは「労働」とみなされ、「時間外勤務手当」の対象になると、労基から指導を受ける時代である。この発想にたてば、そもそも自己研鑽などという概念そのものがないのではないかと。障害者の彼らの人生と向き合うこの仕事は、営利企業が労働者に課す自己学習とは異なると思うのだが、労働基準法に照らして、同一レベルで労基からの指導を受けるのが現実である。だから、施設長が「自己研鑽」を職員に話すことすらためらう時代なのだ。

しかし、あえて言いたい。福祉の現場に身を置き、この仕事を生涯の仕事に位置付けるのであれば、絶対に自己研鑽は必要であると。私が卒業した日本福祉大学では、福祉現場において対人援助に関わる社会人を対象に「スーパービジョンの理論と実践の基礎」という講座を開講している。スウェーデン在住の担当教員である訓覇法子(くるべりこ)先生が、開講にあたり次のような文章を載せていたので、参考までに引用しておきたい。いつか、この講座を受け、スウェーデン実習にも参加したいと思っている。

自分がやっていることは正しいのだろうか、必要な支援ができていないのだろうか、勘だけに頼っていないだろうか、もっとよい実践をするためにはどうしたらいいのだろうかなど、悩んでいませんか？良いケアの出発点は支援を必要とする人の最善とは何かを理解することにあります。それには、信頼ある人間関係の形成が要求されます。人を理解するために役立つのが、その人となりや紡ぎだす心の構造・自我の機能に関する知識です。他者を受容するには、自分の自我機能を知り、自分を受容できることが必要です。自分を愛することができない人が、どうやって他者を愛し、支援することができるのでしょうか？問題解決能力とは、専門的知識だけではなく、感情、人間観、価値観、判断力などの自己資源を目的に沿って、総合的に使える能力のことです。スーパービジョンは、実践を紐解くことによって、無意識にやってきた実践に言葉を与え、解決能力を向上させる機会を与えてくれます。共に学びませんか？

《「日本福祉大学通信教育部 履修証明プログラム」より》

8月行事予定

8月2日(水)	清掃日(16時終わり)、料理教室 ※清掃日は16時終わりを予定しています。お迎えの方は16時を目安にお願いします。
8月8日~11日	保護者参観日
8月9日(水)	工賃支給日、避難訓練、サークル活動
8月16日(水)	作業15時終わり(職員会議の為) ※お迎えの方はご注意ください
8月23日(水)	サークル活動
8月27日(日)	保護者役員会、ユーアイ夏の交流会
8月30日(水)	清掃日(16時終わり)



8月の指定休

1班:3・10・17・24・31・日曜日、2班:4・11・18・25・日曜日
3班:5・12・19・26・日曜日、4班:7・14・21・28・日曜日
5班:1・8・15・22・29・日曜日、6班:2・9・16・23・30・日曜日、
7班:土・日曜日



保護者会清掃活動



7月16日(日)、先月に引き続き2回目の保護者清掃活動が実施されました。当日はとても暑い中23名の方にご参加いただきました。今回は駐車場をメインに行いましたが、固くて抜けない草に皆さん悪戦苦闘し、汗だくになりながらきれいにしていただきました。

今回ご参加の皆様、本当にありがとうございました。【楠】



☆一泊旅行のお知らせ☆

本年度は、待ちに待った「一泊旅行」を実施します。詳細については後日文書を配布しますので楽しみにしておいて下さい！！

○平成29年9月3日(日)~9月4日(月)
○行き先:名古屋方面
(トヨタ産業技術記念館、名古屋港水族館)
○宿泊先:長島温泉「ホテルオーブ」



GOTO 会議を開催

6月23日、今年度2回目のGOTOさんとの調整会議を行いました。今回は医療関連サービスマークの更新について確認したり、重油地下タンクの設置後15年の更新申請、環境整備の為の工事進捗・工事予定の確認といった今後の運営面での協力体制について具体的な話し合いを持ちました。また、今後のクリーニング作業での機械導入についても意見交換をしました。【楠】

今月の担当は宮本翔でした。

ワークホーム高砂作業近況報告！！



熱中症対策に取り組んでいます！～クリーニング班より～

梅雨も明け本格的な暑さになってきました。クリーニング作業場の気温が 35℃を超える日も多くなっています。熱中症対策として、作業中は扇風機、スポットクーラー、換気に気を配り、少しでも涼しい環境で作業できるよう心がけています。また、今年は保護者が用意して下さったスポーツドリンクを必ず 1 日 1 本配付し水分補給を行っています。そのかいあって、幸いにも熱中症になった方がおられません。暑さが続くここ数ヶ月は今後も熱中症に気をつけていきたいと思えます。【桂】



タオル班作業場レイアウト変更



6 月下旬、タオル班の模様替えを行いました！今回の模様替えにより、作業台 2 列の後ろにあった検品台が真ん中へ移動しています。作業台と検品台の距離が近くなったことで、利用者さんと職員の距離も近づき、より密な支援環境となりました！また、模様替えと併せて、この度すべての作業グループに冷蔵庫を設置し、各作業場で冷たいお茶を提供できるようになりました。【岡田】



変更前



変更後

検品台が真ん中へ移動しました！

「なっとこちゃん」の輪広がる！！～納豆班より～

暑さも厳しくなってきました。こんな時は“ねばねば納豆”より、口当たりの良いものが欲しくなるものですね。実際“なっとこちゃん”の売り上げは、例年、夏には下がっていたんです。それが、通常のご注文やスーパーヤマダ様への納品以外にも、個人様からの注文が増えているのです。保護者の方からのご注文や、WH関係者のお友達等「おすそ分けしたら、気に入ってくれて」と、本当に“友達”ならぬ“なっとこちゃんの輪”を広げていただいています。一回のご注文が「10 個」「15 個」…「30 個」…「60 個」なんて、配達準備しながらびっくり！！。「納豆好きやって言ってたから持って行ってあげるの」と言ってくださる方もあり、本当に、ありがたいお客様です。

皆様、いつもありがとうございます。小粒納豆“なっとこちゃん”準備も進んでおります。今後ともよろしく願いたします m(_)_m【西野】

作業机が新しくなりました！

5 月 26 日、作業テーブルがステンレスの業務用になり、以前と同サイズなのに広がったような気がします。作業もスムーズに流れるようになり効率アップにつながっています。【西野】

ピカピカの作業テーブルになりました！



イドタフレスコさんに見学に行かせていただきました

7 月 10 日、奈良県にあるクリーニング工場「イドタフレスコ」の見学に、GOTOからは安杖社長と岡本工場長が、ワークからは齋藤施設長、楠主任、桂副主任、宮本の総勢 6 名で行ってきました。今回の目的は、現在、GOTO会議の中で話題になっている新規機械の導入を検討するためのもので、「ムーンサルト」という個別洗濯専用乾燥機を中心に見学させていただきました。シーツやタオルの機械など、工場全体の案内もいただき、機械化が随分と進んでいることに驚くとともに、作業の効率的な進め方なども大変参考になりました。普段なかなか他の工場を見学する機会が少ないので良い経験となりました。【宮本】



《ムーンサルトの作業風景》



《タオルフォルダー》

年に一度の健康診断！！

7 月 13 日、利用者さん・職員の健康診断がワークホームで行われました。採血の注射や心電図検査など緊張をする場面も見られましたが、グループごとに順序良く診察を受けることが出来ました。自分の体の状態を知り元気な生活を送るために、年 1 回の健康診断は大切です。今回の健康診断をきっかけにして、利用者も職員も健康な生活づくりを目指してほしいと思えます。【三輪】



播淡地区職員研修会に参加して！！

7 月 7 日、市川町文化センターにおいて平成 29 年度播淡地区第 1 回職員研修会が開催されました。

今回、桂は役員として参加し、普段と違った立場での研修でした。他の施設の方との交流もでき、参考になる意見やアドバイスももらったりしました。講演を聞くだけでなく、同業者のリアルな現場の声を聞くことができとても有意義な時間となりました。【桂】

岡田は、受講者として参加しました。テーマは、『強度行動障害』について。北摂杉の子会の堀内 桂先生による講義のあと、強度行動障害の事例をもとにグループワークを行い他施設の職員と意見交換をするなど、大変貴重なひと時となりました。今回の研修で学んだことを活かし、今後も利用者さんと楽しく関わっていききたいと思います。【岡田】

三村さん就労にむけ退所

3 月 20 日からワークを利用されていた三村慧吾さんが、一般就労や就労 A 型事業所に移りたいとの希望をかなえるため、6 月末で退所されました。3 ヶ月という短い期間でしたが、ワークで学んだことを今後活かして欲しいと思えます。【松藤】



月刊「ワークホームだより」9月号

発行:平成29年8月23日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111



国の報酬改定作業に関心を持とう！

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

平成30年度は、障害福祉サービスの報酬改定が行われる。そのため、厚労省は「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」を立ち上げ検討作業に入った。5月31日に第1回目が行われ、既に6回の会議が開催され、8月25日には7回目が予定されている。10月頃に検討の大枠が示され、報酬単価(案)は1月下旬から2月初旬頃に公表される見通しで、来年の4月には新たな報酬と「地域定着支援事業」などの新サービスがスタートする。

さて、ワークにとって今回の報酬改定はどのような意味を持つのだろうか。関心を持っていただきたいので三つの事柄について提起しておきたい。一つは、「食事提供体制加算」である。これは、利用者の昼食の公的補助のことで、厚労省は廃止の方向で議論している。その理由は、昼食は、誰もが食べるもので、事業所を利用しているから補助するという性格ではないというもの。勿論、その背景には財務省の圧力がある。予算額が毎年10%程度の伸びを見せている中で、制度として持続可能なものとしていくための方策の一つとして検討している。今回のポイントは、完全に廃止されるか、それとも補助率の低下で決着するかである。少なくとも来年4月からの昼食自己負担額の値上げは避けられそうにない。

二つ目には、B型事業所の廃止議論である。厚労省は財務省からの圧力と説明しているが、そもそもB型という中途半端な働き方はおかしいという議論であり、「労働」の視点からは最低賃金を保障し労働法が適用されるA型事業所だけにすべきで、それ以外は「生活介護」にすべきという議論である。これについては、現状の課題整理を丁寧に行わないと事業所つぶしに繋がる。ワークで言えば、現在の利用者数を維持したままで最低賃金を支払うことは不可能であるし、生活介護に全面移行したとすれば、障害支援区分を持たない軽度の利用者は退所することになる。ワークのように重介護型利用者が少ない事業所は、減収となり現在の職員を雇用する財源が無くなる。こうした現実課題を踏まえ、その解決の方向性が示されなければ、B型廃止は必ず障害者福祉サービスの低下を招くと思う。

三つ目には、介護保険との関係整理についてである。既に、65歳以上の高齢障害者については現状の利用形態を大きく変えずに障害福祉サービス事業所を「指定介護保険事業所」に位置付けることになった。したがって今回議論されるのは、その報酬や指定基準、利用者負担額についてである。ワークには65歳以上の利用者がいないので直接的な影響はすぐには出ないが、制度の方向性を見据えるという意味で注目しなければならない。

以上の視点は、一部でしかなく、ワークにとって影響のある項目は他にも沢山ある。しかし、大事なことは、こうした議論に関心を持ち、利用者や家族の現実に即した検討が丁寧に行われるよう、霞が関を監視することである。そして、障害者の声を代表して伝える努力をすることである。議論は、厚労省のホームページで公開されている。是非一度はアクセスしてほしいと思う。保護者会などでも議論ができるよう、私自身も情報を発信していきたいと思っている。

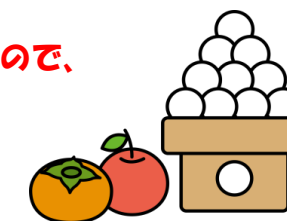
9月行事予定

- 9月3,4日(日,月) ワークホーム高砂一泊旅行
- 9月6日(水) 料理教室
- 9月17日(日) 親子レクレーション行事
- 9月27日(水) サークル活動



9月5~25日 保護者懇談会(前期)
各ご家庭に連絡させていただいておりますので、日時お間違いないよう、よろしくお願いします。

一泊旅行により月曜日に一日作業を止めますので、
6日、13日、20日(水)は17:00まで作業を行う予定です。



9月の指定休

- 1班:7・14・15・22・29・日曜日、2班:1・8・16・23・30・日曜日
- 3班:2・9・11・18・25・日曜日、4班:1・8・12・19・26・日曜日
- 5班:5・12・13・20・27・日曜日、6班:6・13・14・21・28・日曜日、
- 7班:土・日曜日

保護者参観を開催しました



今年度も8月8日から12日にかけて保護者参観を実施させていただき、31家族35名の方にご参加いただきました。今回はクリーニング班、納豆班の両作業班を見ていただけるよう日程調整し、両方の作業班を見ていただいた保護者様も多数おられました。なかなか実際に働いている姿を見る機会が少ないので良い機会であったのではないかと考えています。

見ていただく中でご意見、ご感想をいただき自分たちになかった視点、見落とししていた部分など創意工夫のヒントをたくさんいただきました。これらの貴重なご意見を参考にしていきたいと思っています。

この度は暑い中のご参加、ありがとうございました。(楠)

今月の担当は 松藤 でした。



避難訓練



8月9日、避難訓練と通報訓練を行いました。2日前に台風5号が来ていたこともあり利用者、職員とも普段の避難訓練より緊迫感を持って取り組めたように思います。

また、今回から避難場所が WH の駐車場に変更となり、道路を1つ跨ぐかたちになったことで、車などの注意が増えました。そうした点にも配慮しながら、今後もの確に避難できるよう取り組んでいきたいとします。(桂)

◀ 歯ブラシとコップの消毒を始めました!! ▶

ワークホームでは昼休みの時間を使って、利用者さんに昼食後の歯磨きをしてもらっています。今までは歯磨きが終われば水洗いのみをしていたのですが、衛生面を考慮し、8月10日からは公休班ごとにカゴを分け、その日の公休者の歯ブラシとコップの消毒をすることにしました(週1回のペースで消毒)。また、歯ブラシを綺麗に保つ為に、歯磨きをする前にはうがいをする、歯磨きが終わったら歯ブラシをしっかり洗うことも日々伝えています。利用者、職員共に衛生面を意識しながら歯磨きができるよう継続していきたいとします。(宮本)

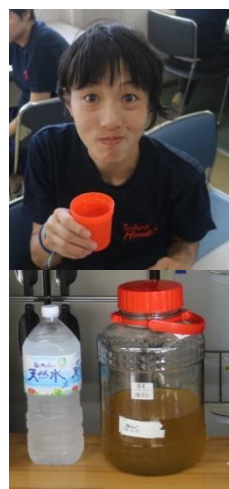


空調服を導入しました!



仕分け班は暑い日でも、衛生面の問題を考慮して長袖で作業をしてもらっています。36℃近くまで温度が上がる中で、利用者、職員共に汗を大量にかき、過酷な作業となっていました。そんな中、空調服という長袖の作業服に扇風機が直接ついているものを購入をしました。実際に着てみると、服の中に常に風が吹き込まれていて、身体の表面に溜まった暖かい空気を首元、袖口から逃がすというものでした。目に見えて汗をかく量が減り、体感温度もかなり下がりました。これにより、作業を快適に行えるようになったと思います。(松藤)

梅ジュースが完成しました!



6月に収穫した梅をあかりの家で梅シロップに仕上げてください、先日、利用者と職員で梅ジュースにしておいしくいただきました。梅は希望山荘の利用者を中心に収穫したもので、自分たちの収穫した梅がジュースになったと大喜びでした。ジュースは、梅の酸味が少し感じられるさわやかな風味で、来年もがんばって収穫しようとみんなで話をしました。(松藤)

有瀬さんお別れ会

今年3月よりワークホーム高砂で働き始めた有瀬奈津芽さんが、7月末をもって退所されました。短い期間ではありましたが、派遣会社への就職が決定したための卒業です。最終日には、お別れ会を開き、利用者を代表して岡本年世さんから手紙を読んでいただきました。新しい職場でも、ここで学んだことを生かしながら、頑張ってきてほしいと思います。(岡田)



～洗濯場に大型サッシ設置～



8月10日、洗濯場の入り口南側に大型サッシ2枚を設置しました。これにより洗濯場から作業場に風が抜けるようになりました。この場所は冬場に仕分け班が作業を行っている所で、なんとなく薄暗かったのがとても明るくなりこんなにも雰囲気が変わるのだなあと感じました。今後の環境整備においては、採光なども考えてより働きやすい作業場作りをしていきたいとします。(楠)

★ 高圧受電設備を更新 ★

8月6日、大型連続洗濯機などの動力設備を安定的に稼働させるための「高圧受電設備」の更新を行いました。この設備は、不備が出れば周辺地域に甚大な影響を及ぼしかねないため、耐用年数を考慮して今回更新することにしました。開設当初に導入したインフラ・設備機器の耐用年数が過ぎてきており、ここ数年はこうした機器の更新が続きます。GOTOとの協議を進めながら、クリーニング関連設備機器の更新を計画的に進めていきたいと考えています。(齋藤)



全国社会就労センター 総合研究大会に参加して



7月27日、28日の2日間にわたり、神戸ポートピアホテルで開催された全国社会就労センター総合研究大会に参加させていただきました。今回の大会は、40周年記念大会で『働く・くらす』を支える『社会就労センター/SELP』の未来を展望するをテーマに、全国から約500名の関係者が集いました。大会では、「就労」や「暮らし」を支える実践について発表するなど、幅広く意見交換がおこなわれました。2日目の分科会では、就労継続支援事業部会に参加させていただきましたが、先進的な就労施設が行っている画期的な取り組みや高工賃を保障する強い信念と運営理念などを聞き、私たちワークホームとしてもっと色々な可能性を模索しなければならないと大いに刺激を受けました。現状に満足することなく、利用者の能力をさらに開発し、「就労」に対する高い意識を持って仕事に取り組んでいかなければと強く感じた大会でした。(楠)

てんかん講座に参加しました

8月1日、2日大阪商工会議所で開催された「てんかん基礎講座」に参加させていただきました。「てんかん」という病気の仕組み、治療法、発作など様々な事を2日間で学ぶことが出来ました。てんかんは、特別な病気ではなく誰にでも発病する可能性があります。また知識をきちんと持って適切な対応を取ることが大切だと感じました。今回講座を受けて、学んだことをこれからの支援につなげていきたいとします。(大谷)

★ 納豆班トピックス!(^)!… “鑄物コンロも新調” ★

「一つダメになったら次々と故障する」とよく言いますよね。家庭での電化製品のことで。電化製品の寿命と言いますか…。納豆作業場でも、昨年、冷蔵庫・発酵機・作業テーブルと新しくなり、これ一通りは揃ったかと思っていたのですが、長年使いなじんでいたガスコンロが経年劣化により「交換した方がよいですね」という診断を受けました。そこで、大きい圧力鍋を強い火力で炊き続けてくれたコンロに「ご苦労様」と感謝して、8月初旬新しい鑄物コンロに変えました。次々と道具物を購入して、更に納豆づくりに励んでいます。(西野)



月刊「ワークホームだより」10月号

発行:平成 29 年 9 月 22 日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331



利用者の成長を感じた一泊旅行

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

9月3日から4日にかけて、一泊旅行を5年ぶりに実施した。日帰り旅行は毎年実施していたが「一泊」するのは私が施設長になってからは初めてであった。総勢53名がバスに乗り、一日目は名古屋市にある「トヨタ産業博物館」へ行き、夜は三重県桑名市の長島温泉で宿泊した。二日目には「名古屋港水族館」でイルカショーなどを楽しみ、「なばなの里」のレストランで昼食をとり楽しい二日間を過ごしたのだった。

今回の行事を振り返って、様々なことを考えさせられた。私は行く前から全ての利用者に参加してもらうことを目標の一番目に掲げていた。「全員参加の旅行など当たり前のことでは？」と思うかもしれないが、5年前まで実施していた旅行では、家を離れて宿泊することに不安を持つ利用者は参加していなかったし、「旅行など行きたくない！」と「意思表示」する利用者は「本人の意思だから」と、連れて行かなかった。しかし、今回は「全員参加」にこだわった。それは、旅行が楽しい人も不安で嫌な人もいることを承知で、同じ体験を共有しあう「力」を試したかったこと、そして、同じ体験の中でワークホームとしての「仲間意識」を高め、新たな楽しみ方や不安を乗り越えた後にある「本当の喜び」などを感じてほしいと期待したからである。幸いにも、保護者の方々の賛同が得られ、GOTOの協力、職員の頑張り、そして何よりも利用者本人たちの頑張りがある、一人残らず全員の参加が実現したのである。

旅行中は、様々な場面で利用者の成長を感じた。あれだけ行くのを不安がり、一時は親御さんから「行かせなくてもいいですか？」との連絡までもらっていた利用者が、バスの中でゲームに参加し水族館では「園長先生、イルカショー楽しかった！」と楽しそうに話しかけてくれた。言語でのコミュニケーションが取りにくい利用者たちと一緒に一般客に交じって露天風呂も堪能できた。家族と離れて宿泊するのは初めてという利用者もいたから、夜に睡眠がとれるか心配したが、大きな混乱もなく翌朝には笑顔で食事会場に顔を見せてくれた。様々な場面で、職員の指示にテキパキと動く利用者の姿を見て、作業時に見せる集中力がここでも生きてると強く感じた。初めての場面だけにヒヤヒヤしながら自閉症の方のパニックを心配したが、静かに職員の傍を歩く姿を見ながら、職員が一緒にいるだけで安定できる関係がしっかり築けていることを実感したのだった。

出発数日前にGOTOの岡本工場長からジュースとお茶の饞別をいただき、当日の朝には数名の保護者の方が見送りにきてくれていた。帰ってきたときにも迎えに来てくださった保護者の方がいて、後で話を聞くと「我が子が無事に帰ってくるか心配だった」とも聞いたが、「一番疲れていたのは先生たちでしたね！」と言われ、「まだまだ修行が足りないな」と感じた次第である。足りない点、反省すべき点はたくさんあるが、それは今後の課題として次の機会に活かしていこうと職員に話している。

10月の行事予定

- 10月 4日(水) 料理教室
- 10月11日(水) サークル活動
- 10月18日(水) 清掃
- 10月25日(水) 工賃支給日
- 10月 4日(水) サークル活動
- 10月25日(水) 会議日 ※会議のため15:00作業終了となります。

10月の指定休

- 1班 7. 14. 21. 28. 30. 日曜日
- 2班 2. 9. 16. 23. 31. 日曜日
- 3班 3. 10. 17. 24. 日曜日
- 4班 4. 11. 18. 25. 日曜日
- 5班 5. 12. 19. 26. 日曜日
- 6班 6. 13. 20. 27. 日曜日
- 7班 7. 14. 21. 28. 日曜日

平成 29 年度前期個別懇談会を実施！！



9月5日～25日の約一ヶ月という期間の中、保護者の方々に越しいただき、個別懇談会を実施しています。年に2回、利用者さん、保護者の方々、施設長、担当職員と一緒に話し合う機会を持ち、個別支援計画の見直しやご家庭の様子等について話し合いをしています。今回は9月3日、4日に実施した一泊旅行の感想等も多くなりました。懇談会は9月25日まで続きますが、今回、話し合った内容を基に下半期の個別支援計画を作成し、利用者さん、職員共に頑張っていきたいと思います。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。(宮本)

今年も「業績賞与」をいただきました！

今年度もゴトウ・アズ・プランニングから利用者さんの臨時賞与の財源となる委託料の上乗せをしていただきました。これは、安杖社長との定期会議を通じて合意したもので、ゴトウの決算期の9月と中間決算期の4月に「業績賞与」として委託料に上乗せしてもらっています。業績賞与の基本ルールは、平成26年度実績と当該年度実績の差異の5%をワークホームに還元していただくというもので、仮に差異がマイナス実績であったとしても工賃返還は無いという、私たちにとってはありがたい形をとってもらっています。ワークホームとしては、頑張っして仕事をして生産量を上げれば、その対価がもらえるということを利用者さんにわかりやすく伝え、これからも工賃向上と労働意欲のモチベーションにしていきたいと思っています。(楠)

今月の担当は 三輪でした。

あかりの家との連携

丸山さんの新たな挑戦！

あかりの家からワークホームに通所している丸山さんの新たな挑戦が始まっています。これまでは自転車や徒歩で通勤していた丸山さんですが、安全面、体力面、年齢などを考慮して9月5日からバス通勤を始めています。あかりの家の職員さんに NicoPa (ICカード) を用意していただき、数回の練習を経て「じょうとんバス」での通勤となりました。公共交通機関を使って通勤するのは初めての試みですが、社会性が問われるだけにあかりの職員もワークの職員も気を引き締めて応援しなければならないと思っています。これからも、あかりの家の職員と情報を共有しながら連携を密にして、社会性を養うための支援を広げていきたいと思っています。(楠)



「2017 ユーアイ夏の交流会」へ参加しました!(^^)!

高砂市の福祉交流の拠点として3年前に開設されたユーアイ帆つとセンターで、8月27日(日)、初めての「2017 ユーアイ夏の交流会」が開催されました。アトラクションとして、「尺八浩山会の演奏」や「こどもフラダンス」、落語家さんによる「こんにちは! 桂出丸のちょこっと落語」など楽しい企画が盛りだくさんでした。私たちは「活動PRコーナー」で朝どれ野菜や手づくりパンと一緒に「なっとこちゃん」を販売させていただきました。市内の事業所さんとの交流や地域の皆さんに「なっとこちゃん」を知っていただく良きPRの機会だったと思います。(西野)

自立をめざして体験入居!...希望山荘日笠...

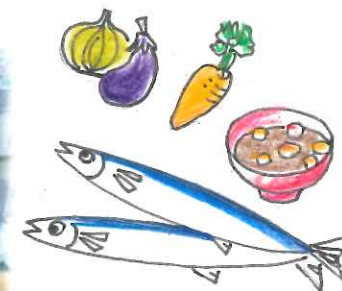
9/11~9/15の5日間、希望山荘へ田中健三郎さんが体験入居されました。初めてということもあり、一日目は大変緊張され普段とは違う生活に戸惑いを見せる様子も見られました。しかし、日を追うごとに少しずつ慣れてきて、睡眠や食事もしっかりととれるようになり、他の利用者さんとも楽しく話をされ、帰るころには随分とグループホームの生活にも馴染んでいました。

食事後の洗い物や洗濯を自身で行ってもらうなど、これからも多くの利用者さんに自立のための練習の場として体験利用してほしいと思っています。(大谷)



男性利用者、料理教室で奮闘!

9月6日は光宗さん、梅原さん、大野さんの3名で料理教室に行ってきました。今回のメニューは「さんまのねぎ味噌春巻き」「蒸し茄子の野菜あんかけ」「豚汁」「おはぎ」4種類でした。さんまを包んだ春巻きは珍しく、「意外!」という言葉が出るほどでした。調理では魚橋先生方に巻き方を教わりながら、どの利用者も丁寧に巻いておられ、自分で作った料理は格別で、美味しい料理を作ることが出来たと思います。今回の料理教室は男性ばかりでしたが、今回の料理の腕前を家でも発揮してほしいと思っています。(中右)



「播淡地区施設長・職員合同研修会」に参加して

8月30日、姫路市商工会議所において「第31回播淡地区施設長・職員合同研修会」が開催され、グループホームから木澤が出席しました。

講演は関西福祉大学の谷口泰司教授が「高齢障がい者を巡る諸課題」と「社会福祉法人制度改革とは」という二つの内容でお話をしてくださいました。高齢障害者の課題については、グループホーム利用者の平均年齢が希望山荘49.5歳、オリーブの家44歳で最高齢者は68歳の方ですので、高齢者は一人だけです。しかし、少し前までは82歳の方もおられ、老人ホームへ移られたこともあり、とても身近な問題について講演を聞くことができたと思っています。高齢障がい者は、結婚をされていない方が多いため、家族は、親や兄弟のみの場合がほとんどで、家全体が高齢化する傾向にあることや、本人にとって一番良い状態が長くつづくような支援や場の提供が必要であり、今から将来を見据えて計画的に高齢者になったときのことを考えて対応していくことが何よりも大事であることを学んだ研修会でした。(木澤)

高齢化問題を考える～「福祉の集い」に保護者と参加～

台風18号が通り抜けた9月19日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて「福祉の集い」が開催されました。ワークホームの保護者会からは、金谷夫妻、東西さん、福田さん、光宗さん、今津さんの6名と齋藤が参加しました。今回のテーマは、害者の高齢化問題にスポットをあてたもので、午前中は、「兵庫県障害者の暮らし検討委員会」の中間報告を谷口関西福祉大学教授からいただきました。また、午後からは、実践現場から高齢障害者の取り組みについて具体的なお話があり、兵庫県における知的障害者の高齢化課題について考えるよき機会をいただきました。おりしも、国においては来年度の報酬改定にむけ介護保険との「共生型サービス」について議論されています。高齢障害者の福祉向上のための議論が本当に進められるのか、現場課題をしっかりと踏まえた議論となるよう注視しなければならないと強く思った一日でした。(齋藤)

報酬改定議論の行方

8月5日、厚労省内に設置された「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」は第7回会合において、今後改定に向けた検討を進める上での5つの柱の「主な論点」を示しました。就労系サービスに直接関係する内容としては、「就労支援に係る工賃・賃金の向上や就労定着の促進に向けた報酬の見直し」が4つ目の柱として上げられています。第8回からは事業ごとの検討が始まっていて、①自立生活援助 ②共生型サービス ③共同生活援助 ④地域相談援助 ⑤自立訓練(機能訓練・生活支援)が取り上げられました。9月13日には9回目の会合が開催されたとのことですが、議事録はまだ公表されていません(9月15日現在)。いよいよ、具体的な検討が始まっています。厚労省の資料や検討チームの意見に注目し、ワークホームの課題とのすり合わせをしていきたいと思っています。(齋藤)

月刊「ワークホームだより」10月号号外



発行:平成29年9月22日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

9月4日(日)・5日(月)で行われた一泊旅行、前回からは実に5年ぶりの開催となりました!!
10月号の号外では、そんな待ちに待った一泊旅行の様子をお届けしたいと思います(*^-^*)

1日目

全員揃って旅行の説明!



説明の後は…

早速バスに乗車していきます!



バスでは…



ビンゴ大会が行われました!



昼食のあとは…



そして…



ホテル オリーブへ!

2日目

全員で朝食!



用意をして…

いよいよ出発です!



行先は…

名古屋港水族館!



そして…



なばなの里にて、
昼食&植物鑑賞!

帰りは…



パーキングエリア
にてトイレ休憩!
熟睡される方も…



あっという間に
ワークホーム高砂へ。

宴会

さて、いよいよ
宴会開始です!!



宴会では、美味しい会席料理や
カラオケを楽しみました(*^▽^*)



司会進行も
利用者さん!



明日に備えて
おやすみなさい☆

行動班



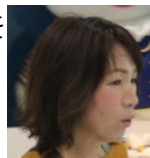


一泊旅行を振り返ってみて!!

家族からも離れて過ごした一泊旅行。普段と違う姿や、社会人としてのモラルが自然と出来ていることを感じられました。羽目を外せる宴会では、大きな声を出したり、苦手な音や場面があっても我慢されていたことに興味しました。

興味の有る・無しによって、楽しみ方は異なっていたかもしれないけど、皆さん良い経験を積まれたことと思います。

【西野】



それぞれにバス酔いの心配や、宿泊の緊張、食事や入浴への不安があったと思いますが、全員がきちんと班行動を守って旅行を楽しむことが出来て良かったです。食事が豪華だったので、すいぶん食べすぎつつ、「名古屋港水族館にも」居たかったね〜と名残惜しみながら帰路につきました。

【三輪】



今回初めての一泊旅行で、2日間利用者さんと過ごすことは、自分自身にとっても新鮮なものであり、新たな一面を多く見る事ができました。

また、非日常の場面で団体行動の得意・不得意等、作業では見ることが出来ない姿を見て、これからの課題になると感じました。緊張感を持ちつつも、利用者さんと一緒に楽しむことで、作業とはまた違った関わり方をすることが出来たように感じた2日間でした。

【大谷】



今回の一泊旅行は、1つ1つがゆったりとした余裕のあるプランだったと思います。そのために、職員も利用者も、落ち着いて行動しやすかったように感じました。

またホテルでは、利用者さんの入浴や、睡眠などの生活場面に立ち会ったことで、普段は見ることが出来ないことにも気付きました。カラオケを中心とした夜の宴会も盛り上がり、良い2日間になったと思います。

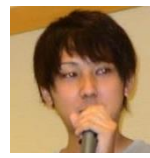
【藤本】



一泊旅行は初めての参加でした。普段見られない利用者さんの様子を近くで見ることが出来て、貴重な体験になりました。私の担当した班では、オリーブの家で暮らしている利用者さんがほとんどだったので、普段の生活サイクルが身に付き、一泊旅行でもよく眠れたのだろうと感じました。

また、旅行後も乱れることなく普段通りに生活されているところをみて、成長を感じました。

【中右】



今回の一泊旅行では普段見ることができない利用者さんの様子を見ることができ、新たな課題や新しい発見が多くありました。2日間を通して「できなさ」よりも、なんとという作業では見せない生き生きとした表情が見られたことをうれしく思いました。

この大切な機会を今後の作業支援、生活支援に活かしていきたいです。

【楠】



今回は、雨天に左右されないプランだったので、プランを大きく変更することなく目的地に行くことが出来て良かったです。また、5年ぶりの一泊旅行だったので、普段見ることができない、利用者さんのお風呂や睡眠を見られたので、職員でも良い経験ができたと思います。



ワークホームとしては5年ぶりとなる一泊旅行でした。全体的な印象としては、利用者さんの話を聞く態度、全体での行動といった部分に成長を感じました。例えば、職員が話している時は自然と静かに話を聞くことが出来る、周りに合わせて行動をすることが出来る、など…。日々の作業や生活でのかかわりの中で少しずつ、利用者さんの意識も変わってきているように感じました。

また、朝食でケチャップをどれに付けるか悩んでいる利用者さんを見て、何もかも職員がするのはなく“本人が自分で考える”ことの大事さの一角を見ることが出来たように思います。

【宮本】

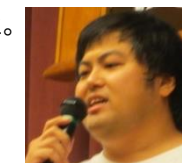


一泊旅行を通して、就寝時などの普段では見ることができない様々な面を見ることができました。その中でも、髭剃りや歯磨きなどのやり方を一緒に確認しながら行ったり、不十分なところは手伝いをしたりなど、私自身とても良い経験が出来たと思います。

自由行動の時間についても、「ここで～します。」等の指示をすぐに聞いて動くことが出来、利用者の皆さんの成長を実感し、嬉しく思いました。

一緒に旅行ができて良かったです。

【松藤】



今回、初めて一泊旅行に参加させていただきました。利用者さんと露天風呂を満喫したり、布団を並べて寝たり、女子トークをしたりと、楽しかったです。

また、速やかに一列になって待つ、職員が前に立つと静かに前を見る、など日頃の作業で培われたものを発揮できた2日間だったと思います。

“帰るまでが一泊旅行”ということで、自宅に帰りお土産(話)を家族に渡すところまで楽しんでもらったのではないかな?と思います。

【岡田】



ワークホームだより 10月号号外の担当は、岡田美咲でした!!

月刊「ワークホームだより」11月号

発行:平成 29 年 10 月 23 日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

「生活介護」から「社会生活支援」への視点

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

ワークホームは、みなさんご存知のように「生活介護事業所」と「就労継続B型事業所」の「多機能型事業所」です。私はワークホームを紹介するとき、「働く場」であることを強調して説明しますので、ワークホームの「生活介護事業所」については、私の考えを紹介したことが少なかったように思います。

制度上の「生活介護」は、その事業目的を「常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行う」と規定し、「自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として通所により様々なサービスを提供し、障害のある方の社会参加と福祉の増進を支援します」と、厚労省は説明しています。この説明を見てわかるように、「何でもあり」の事業所が「生活介護事業所」なのです。

このことを踏まえて、ワークホームでは、「生産活動の機会」と「自立の促進」「生活の改善」「生活能力の向上」「社会参加」に焦点をあてて取り組んでいます。主に「納豆作業」を生活介護事業に位置付け、企業論理に合わせるのが少し難しい利用者でも、「働くことの喜び」を追求し、「納豆作業」をとおして働く能力や生活能力の向上をめざしています。決して商品の質は落とさず、しっかりと働く姿勢を維持しながら、個々の課題に丁寧に取り組み、「できないことが少しでもできるように」自立促進を視野に入れた支援を行うようにしています。ある利用者は、しっかりと朝のあいさつが出来るようになりましたし、「なっとこちゃん」のお得意さまには「いつもありがとうございます」とあいさつが出来るようになりました。また、作業場に入るときにはドアを開けてドアを閉めるという一連の行動が、声掛けがなくても出来るようになり、作業服のボタンが留められなかった利用者が毎日の支援により自分で作業服の着替えが出来るようにもなりました。広い意味で、自立の促進・生活改善・生活能力の向上が図られているといえます。

「生活介護」と聞くと、「何もできない人だから介護やお世話をするのだろう」とイメージしがちですが、決してそんなことはなく、利用者のできることを見つけ出し、それを膨らませていきながら社会との接点を限りなく追及する視点で取り組むのが私たちの「生活介護事業所」なのです。そういう意味では、「生活介護」ではなく「社会生活支援」とでもいうべき内容なのです。

来年度の報酬改定や制度変更では「生活介護」という名称は変更されませんが、今後、制度の大きな変更時には、是非とも「社会生活支援事業所」という事業名に変更した頂きたいものです。それが、高齢者介護との区別を図るうえでも必要な視点だと考えています。

11月の行事予定

- 11月 1日(水) サークル活動
- 11月 5日(日) ベーコンパーティー(グループホーム)
- 11月 8日(水) 清掃
工賃支給日
- 11月15日(水) サークル活動
- 11月19日(日) 保護者研修会
- 11月22日(水) 会議日
※会議のため15:00作業終了となります。
- 11月30日(木) ぼんたん文化祭

11月の指定休

- 1班 6、13、20、27、日曜日、
- 2班 7、14、21、28、日曜日
- 3班 1、8、15、22、29、日曜日、
- 4班 2、9、16、23、29、日曜日
- 5班 3、10、17、24、日曜日
- 、6班と7班 11、18、25、日曜日

GOTO との会議報告

10月6日にゴトウの安杖社長、岡本工場長、ワークホーム齋藤施設長、楠の4名で定例会議を行いました。今回の主な議題は、11月14日に実施される「医療関連サービスマーク」の更新についてでした。「医療関連サービスマーク」というのは、病院寝具類を洗濯するために必要な指定工場の認定を国の外郭団体である「一般財団法人医療関連サービス振興協会」からいただくもので、社会福祉法人あかりの家として現在認定を受けています。この認定更新のための審査が11月にせまっていることから、会議ではこれまで指定工場として不十分だった点について改善する方向でゴトウとワークホームの双方が協力し解決していくことを改めて確認しました。昨今の社会情勢の中で叫ばれるコンプライアンスを企業と社会福祉法人が協力して行えるよう、今回の更新事務を進めながら密な連携を図っていきたいと思います。(楠)

今月の担当は中右でした。

クリーニング作業の下半期に向けて

早いもので平成29年度も上半期が終了しました。上半期は、クリーニング作業に加え新しく「くすのき公園清掃作業」を取り入れるとともに、自立的な働き方を目標とした「グループホームオリーブの家清掃作業」も昨年度に引き続き実施しました。上半期は、ゴトウさんからの「業績賞与」に代表されるように利用者さん個々の作業姿勢やスキルが大きく伸びました。下半期については、「作業→仕事→職業」そんな高度な働き方を目指して取り組み始めています。利用者さん一人一人が働く喜びを実感し、「働くためにワークに来ている！」という雰囲気づくりを大切にしたいと思っています。そういう意味で下半期は、「挑戦」をテーマに取り組み、今まで習得しきれなかった作業や新たな作業内容に職員も利用者さんも取り組みたいと考えています。誰だって最初はできないものですが、少しずつ練習を重ねるなかで出来る範囲を広げ、出来ることの喜びや達成感を共に味わいたいと思っています。(楠)



小粒納豆誕生…もう少しお待ちくださいね！！

納豆作りを始めて、何度も乗り越えねばならない壁がありました。それぞれの作業工程や流れについて、衛生面や作業効率を図りながら如何にみんなが参加した納豆づくりをしていくのか！とか。長年使い続けた発酵機での粘りの不安定さを克服し異物混入を出さない・粘り具合のチェック等、本当に次から次へと課題がある中で何とかここまで来たものの～。いま最大！？の壁にぶつかっています。納豆作りのスタートは今津理事が築きあげてくださったおかげで、一から生み出す苦しみを知らずに来ていたのです。夏前からスタートさせた“小粒納豆開発”。最初は順調に進んでいたのです。「おっ、これは上手くいくかも」と思ったのが甘かった！。小粒納豆の発酵具合が、つまり粘りが上手くいかないのです。圧力鍋での炊き方を変えてみたり、発酵温度・湿度 etc 試行錯誤しながら、少しずつは良くなっているのですが、あと一步の一步が大きな川となって苦戦しているのです。なかなか小粒納豆をお届けできませんが、“生みの苦しみ”にもがきながら頑張っていますので、もうしばらくお待ちください(西野)



高砂海浜公園に行きました！

10月4日(水)のサークル活動の時間を使って、スポーツサークルのメンバー全員で高砂海浜公園に出かけました。向島という人口島にある公園で、遠浅の砂浜や、撮影用のオブジェなどいろいろなものがありました。潮風を受けながら全員で砂浜沿いを歩き、写真もたくさん撮るなど、楽しい時間を過ごせました。また機会があればどこかへ出かけることを計画できればと思います。(松藤)



わいわい、がやがや、親子カレー大会を開催！

10月22日、保護者会主催の親子カレー大会がワークホームの食堂で開催されました。当日は、「臨時保護者会」と「父親の会」も同時に実施する予定でしたが、「父親の会」については、台風21号の影響で雨が降っていたため予定していた「楠公園」の除草作業は中止となりました。そのため、主にお母さんと利用者はカレー作りをしていただき、お父さんは会議室にて懇親を深めました。カレー作りではお母さんと利用者さんが一緒に玉ねぎやじゃがいもの皮むきを「わいわい、がやがや」いながら楽しくしていただき、お昼前にはカレーが完成し、みんなでおいしくチキンカレーをいただきました。

12月には「親子クリスマス会」が予定されていますので、今回台風のため出席できなかった方についても積極的に参加していただけたらと思います。(齋藤)



強度行動障害支援者養成研修を受けて

9月30日、10月1日の二日間に渡り、県立総合リハビリテーションセンターにて開催された「強度行動障害支援者養成研修」に行かせていただきました。全体を通して感じたことは、自閉症や知的障害の方の問題行動だけを捉えるのではなく、その背景にある一人ひとりの障害特性や環境要因を考えることが重要だということでした。目に見えるだけの情報ではなく、目に見えない情報こそが、利用者さんとの関係構築や内面を知っていく上では必要であると強く感じました。今回、学んだことを今後につなげていきたいと思っています。(宮本)



月に一度のロッカー掃除

月に一度、自分たちが使用しているロッカーの掃除を行っています。毎日使っている為、ついつい物が増えてしまったり、ゴミが置きっぱなしになったりと、管理が難しい方もいますので、その日は職員さんの“合格”がもらえるまで丁寧に掃除を頑張っています。いつもキレイに、気持ちよく使うことを目標に、これからも清掃を行っていききたいと思います。(桂)



グループホーム色々

衆議院総選挙投票に行ってきました！

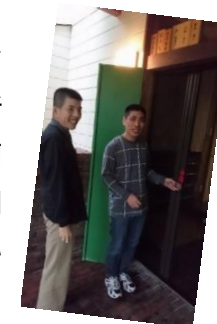
10月22日は衆議院議員総選挙等の投票日でした。オリーブの家の利用者さんも数名ですが毎回選挙に行っています。選挙投票所というのは独特な張り詰めた雰囲気が流れていますので…出発前に、「今から一緒に選挙に行きます！」と伝え、オリーブの家の近くの米田西小学校まで竹林さんと宮本とで行ってきました。具体的な内容については、難しい部分もあるとは思いますが、まずは一国民として、投票所に行き、投票を行うこと自体に



大きな意味があると思います。台風接近中、大雨の中、頑張ってきました！(宮本)

網戸を新調しました！！

希望山荘日笠の玄関にある網戸ですが、劣化によって閉まりにくくなったことで新しく張り替えました。網戸は片開きから両開きタイプに開け方が変わりましたが、利用者さんには少しずつ慣れてもらっています。(中右)



曾根天満宮の祭りに

行ってきました！！

13日、14日の日程で行われていた曾根天満宮の祭りにGH希望山荘の利用者さんに行ってきました。人の多い中、屋台の近くまで行きました。みなさんそれぞれ「よーいやさー」と言ってみたり、太鼓の音を口ずさんでみたりと楽しまれていました。ある利用者さんは、「こんなに一気にたくさん屋台を見たことが無かったから見るのが出来てよかった」と言ってくれました。去年は屋台を見るだけでしたが、今年は露店のあたりも散策しそれぞれほしいものを買われていました。改めて普段とは違う、地域の行事に触れることができ、怪我無く、とても楽しまれていたのでとてもよかったと感じました。(大谷)



月刊「ワークホームだより」12月号

発行:平成29年11月23日 発行者:ワークホーム高砂 〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

事業所経営と報酬改定

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

厚生労働省は、来年度の報酬改定にむけて「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」を立ち上げ検討を重ねています。11月10日に開催された第14回会合においては、「平成29年障害福祉サービス等経営実態調査」の結果が報告されました。この調査は、サービス事業所の経営実態を国として把握し報酬改定の参考とするために3年ごと（改定年の前年）に行われています。「報酬改定」の一つの指標は「収支差率」で3年前の実態調査と今回の調査を比較して、前回の報酬改定が事業所経営にどのように反映しているかをみるものです。簡単に言えば報酬改定の結果、事業所の収支が上向きなのか下向きなのかをみて、「仮に経営状態が良いようなら報酬を下げてもいいだろう」と判断されるのです。今回示された数字は、全てのサービスの平均収支差率がプラス5.9%と報告されました。この数字は、3年前がプラス9.6%でしたので、今回はそれよりも3.7%経営が悪化していると言えます。

ところで、ワークホームが提供する「生活介護事業」と「就労継続B型事業」に限って見てみると、「生活介護」がプラス5.3%、「就労B」がプラス12.8%とのことですが、生活介護でいえば、前回の調査時よりもなんと8.1%のマイナスであり、就労Bでは、逆に2.7%のプラスとなっています。簡単にいえば、生活介護は3年前よりも経営が悪くなっていて、就労Bは経営が良くなっているといえるかもしれません。しかし、「経営実態」はそう単純なものではなく、収入の内容や支出内訳を分析しなければ実際には「良くなった」などと判断できないのです。今回の会合でも、アドバイザーからは「収支差率が高い事業であっても、新規事業の増加により、経験年数の短い職員が多く、人件費が比較的安価であったことが要因となっているところもある。今回の調査結果のみでの判断ではなく、そうした事業所は今後人件費が増えることなどをしっかりと加味していただきたい」、「次回以降の調査では、事業ごとの職員の平均年齢も算出いただきたい」などの意見が出されました。

このように、「公定価格」で経営が左右される現在の福祉サービス事業所は、3年に一度の報酬改定に一喜一憂するというのが実態です。しかし、利用者のニーズは3年に一度大きく変わるわけではありませんから、どっしりと腰を据えて報酬改定の行く末を見定めつつ、利用者一人ひとりの「笑顔」と保護者の安心を提供するという事業所本来の役割と基本を押さえた「経営」をしなければならないと思います。そして、何よりも第一線でサービスを提供する職員たちが、安心して自分の暮らしを設計することができる給与保障をしっかりと経営の柱に据えておくことも忘れてはならないと強く思っています。

保護者会研修会(五色精光園)に参加しました！

11月19日、保護者会研修会として淡路島にある社会福祉法人兵庫社会福祉事業団が運営する「五色精光園成人寮」「かがやき事業所」へ32名（利用者9名、保護者17名、職員6名）で見学に行かせていただきました。成人寮では、利用者一人ひとりの身体状況に合わせた入浴機器や居室も洋室・和室・2人部屋など…入居されている方それぞれの多様なニーズに応えられるようにされていました。かがやき事業所では、利用者の働いている姿を見ることはできませんでしたが、普段働いている環境や、併設されているグループホームを見せていただきました。

そして、今回は施設見学だけでなく一緒に参加した保護者の方とも様々な話をさせていただき、あっという間の1日となりました。ワークホーム高砂としても、また、1人の支援員としても貴重な体験をすることが出来たと思います。

(岡田)



12月行事予定

- 12月6日(水) 料理教室(伊集院さん、岡本さん、木本さん、森川さん) サークル
 - 12月13日(水) 工賃支給日 ※職員会議のため15時で作業終了となります。
 - 12月20日(水) サークル
 - 12月17日(日) 保護者会クリスマス会
 - 12月27日(水) 清掃日
 - 12月29日(金) ワークホーム高砂、作業終了日
 - 12月30日(土) ワークホーム高砂、休業
- 年始は、1月4日(木)の開始となります。



<12月の指定休>

- 1班: 5・12・19・26・30・日曜日、2班: 6・13・20・27・30日曜日
- 3班: 7・14・21・28・30・日曜日、4班: 8・15・22・29・30・日曜日
- 5班: 1・9・16・23・30・日曜日、6班: 2・4・11・18・25・30・日曜日
- 7班: 土・日曜日



医療関連サービスマーク認定調査 実施される！

今年は3年に一度の医療関連サービスマークの更新年であり、9月末に書類審査を経て、11月14日に実地調査を受けました。医療関連サービスマークというのは、医療機関の寝具類など感染の危険性がある洗濯業務等を一定基準で行う設備を有する施設を認定するものです。当日は日本病院寝具協会近畿支部事務局長の西村様と、新関西衣料サービス株式会社代表取締役社長で日本病院寝具協会理事の相野様の2名が調査員としてお越しになり現場での確認をしていただきました。審査結果については、来年の2月までには通知される予定です。

また、今回の審査を受けるにあたり、加古川健康福祉事務所の指導を受けていた消毒庫を敷地内に戻す工事や、手洗い場や防塵カーテンを新しく設置するなどの工事を実施しましたが、今後も関係機関に相談しながら工場課題を少しずつ解決していきたいと考えています。



(下)消毒庫の隣に今回設置された手洗い場を実際に使用している様子

(上)今回移設された消毒庫

(左)汚染区域である洗濯場と清潔区域の作業場を仕切るために今回設置された防塵カーテン

今月の担当は岡田でした。

希望山荘&オリーブの家

オリーブの家周辺の水路掃除に参加しました！

11月12日(日)にオリーブの家周辺の溝掃除があり、今津勇三さん、竹林さん、玉木さんと桂の4人で参加しました。清掃に役に立てたかは、わかりませんが、地域の方々と少し交流も持ちながら無事問題なく参加することができました。また、地域の方々から「先日はベーコンありがとうございました。美味しかったです。」と声を掛けて頂き、少しずつ地域の方に“オリーブの家”が認知されつつあるように感じ、とても嬉しく思いました。(桂)



恒例のベーコンパーティーを開催！

11月5日(日)、希望山荘でベーコンパーティーがありました。毎年恒例の手作りベーコンパーティーですが、今年は希望山荘とオリーブの家の保護者に参加していただき、初めて2つのグループホームの保護者が楽しく親睦を深める機会となりました。燻製器の温度のキープや大きな豚肉の塊からの準備等、毎回難しい作業ですが、あたたかく見守っていただける保護者の皆様には感謝です。(木澤)



グループホーム体験入居！

10月末から多くの利用者さんが希望山荘へGH体験に来られました。西谷さん、小林さんは何度か体験に来られています。そのたびに他の利用者さんとの共同生活に慣れて、大きく成長されているように感じています。玉田さんは体験が初めてとすることで、始まる前は不安があったり、緊張していました。最終日には楽しかったと言っていたので、少しでも共同生活に慣れて頂けたのかなと思います。玉田さんに感想を伺いました。(大谷)
玉田さん『体験はとても楽しかったです。また行きたいです。他の利用者さんが優しくしてくれたから辛くなかったです。家ではあまりしない洗濯と掃除を頑張りました。次行く時も頑張りたいです。』



~利用者さんのお昼休憩の過ごし方~

ワークホームのお昼休憩時間は12:00~13:00までになっていて、その時間内で、昼食やトイレ等を済ませています。また余った時間を使って、コーヒーを飲んだり、TVを観たり、それぞれ自分の思うように過ごされています。この時間帯だけは、作業のことを少しだけ忘れてリラックスできる貴重な時間になっています。(桂)



職員研修会、めじろ押し！

《虐待未然防止研修に参加》

10月27日、県福祉センターにて開催された「県知的障害者施設協会権利擁護委員会 虐待未然防止研修」に行かせていただきました。最近、ニュースでも聞くことが多くなった「虐待」。虐待を起こさない為には！という視点で午前には講義、午後はグループディスカッションを行いました。特に印象深かったのは、「支援者側の虐待誘発要因」で、要因の一つに「正当化(支援の思いや熱意はあるが、支援技術や障害特性に対する知識や理解が追いついていない)」という内容がありました。つまり虐待は愛情があっても起こりうる。そうならない為には職員のスキルアップが必須になってきます。まずは、日常の関わりの中で職員が自問自答しながら虐待防止について意識することが重要だと感じました。今回、学んだ内容をワークホーム全体に広げていきたいと思えます。(宮本)

《第6回全国生産就労部会職員研修会に参加》

11月9~10日に尼崎市で開催された「第6回全国生産就労部会職員研修会」に参加しました。研修会では「農福連携」の実践発表がなされ、10年の間に年間売れ上げが100万円台から1000万円台にまで上がった報告もありました。作業を細分化し、それぞれの利用者が得意とする仕事を極めていく中で工賃は上がり、地域の方にも喜ばれ、“生きる幸せ”を実感できることで安心・安定につながっているという実践でした。地域の中で生きやすいように、どれだけ実践していけるのかが私たちに求められているのだと重く受け止めた研修会でした。(西野)

《全自者協、新潟大会に参加》

ワークホーム高砂は本年度事業所として初めて全自者協(全日本自閉症支援者協会)に加盟し、11月1~2日に新潟市で開催された第31回研究大会に参加しました。今回は、「地域社会との共生を考える」をテーマに、合理的配慮のもと地域の中で生きていけるように環境を整えることの大切さを学びました。ある長野県の社会福祉法人は“24時間365日の途切れぬ支援(安心)”をテーマに「総合安心センター」の実践を発表されました。地域全体を一つの施設と考え、「パニックが起きた」「病気になる。助けて」という要請に、その方の居室に行くような感覚で家まで行って応援する。普通に地域の中で生きていけるように応援するとはこういうことなのかと、衝撃を受けた実践報告がとても印象に残りました。(西野)

《播浪地区職員研修会に参加》

11月10日、「障がいから学ぶ人権~利用者への支援と虐待の境界線を見つめる」というテーマの研修に参加しました。皆さんと接する際に「人権」「個々人それぞれの幸せ」「尊厳を守る支援」を改めて意識することができました。この意識は関わる方が共通の認識として持つておかないと、虐待や不安、迷いに繋がってしまうと感じました。これからも自己研鑽はもちろん、職員間、対利用者間でゆとりを持った環境を作り上げることを考えて職務に当たりたいと思えました。(藤本)

五色精光園祭に参加しました！

10月28日(土)に、木本さん、増田康孝さん、今津香苗さん、田中さん、金谷さんと職員の西野と中右で五色精光園祭へ納豆販売に行かせて頂きました。初めての納豆販売で緊張しておられる利用者さんも居ましたが、購入して頂いたお客様に、とびきりの笑顔で「ありがとうございます」と伝えておられました。

この喜びが納豆作りへの励みになると思うので

これからも納豆作りに励んでいきたいです。

(中右)

